

令和4年度 第2回大野市公共交通活性化協議会

日時 令和4年11月9日(水) 14:00～
場所 大野市役所 大会議室

1 開会

2 報告事項

(1) 公共交通の利用実績(上半期)について …資料1

(2) 進捗報告

- ・まちなか循環バス定期券の障がい者等割引導入、停留所移設
- ・ふくいMaaS協議会の取組(嶺北連携中枢都市圏)
- ・共助型交通の導入検討

3 議題

(1) 地域公共交通確保維持に関する自己評価について …資料2, 3

(2) 大野市地域公共交通計画策定について

① 規約改正・策定体制・策定スケジュール …資料4, 5

② 公共交通の総括とアンケート調査 …資料6, 7

③ 公共交通網再構築の方針 …資料8

4 その他

R4大野市公共交通活性化協議会 (R4.10.27現在)

	分野	所属団体等	委員役職	委員氏名		
学識者	1	学識経験者	国立大学法人 福井大学	福井大学 学術研究院 工学系部門 教授	野嶋 慎二	
	公共交通事業者	2	旅客鉄道事業者	西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社	地域共生室企画課交通企画室 室長	鹿野 剛史
		3	一般乗合旅客自動車運送事業者、その他の一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体	京福バス株式会社	経営管理部 部長	松田 康弘
		4		大野観光自動車株式会社	代表取締役	長谷川 敦俊
		5		大野旅客自動車有限会社	代表取締役	長谷川 義二
		6		いずみタクシー株式会社	代表取締役	野尻 友也
		7		公益社団法人 福井県バス協会	専務理事	小林 博之
関係団体	8	一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	福井県交通運輸産業労働組合協議会	幹事	前川 剛	
	9	その他の団体	大野商工会議所	専務理事	飯田 俊市郎	
	10		一般社団法人 大野市観光協会	副会長	藤堂 規行	
市民団体等	11	住民又は利用者	大野市区長連合会	理事	光澤 正和	
	12		和泉地区区長会	会長	朝日 義治	
	13		大野市老人クラブ連合会	理事	清水 武正	
	14		大野高等学校	校長	真鍋 濟希	
	15		奥越明成高等学校	校長	谷 康博	
関係行政機関	16	国土交通省中部運輸局	福井運輸支局	首席運輸企画専門官	五十嵐 重晃	
	17	福井県	福井県	交通まちづくり課長	堤 宗和	
	18	道路管理者	奥越土木事務所	大野道路課長	榑原 丈成	
	19	公安委員会及び福井県警察	大野警察署	交通課長	織田 貴憲	
	20	大野市	くらし環境部部	くらし環境部部長	乾川 和則	
	21	大野市	教育委員会事務局	教育委員会事務局 教育総務課長	指岡 哲郎	
	22	大野市	健幸福祉部	健幸福祉部 福祉課長	笠松 健男	
	23	大野市	地域経済部	地域経済部 観光交流課長	加藤 嘉一	
	24	大野市	くらし環境部	くらし環境部 建設整備課長	銭井 泰紀	
	25	大野市	健幸福祉部	健幸福祉部 健康長寿課長	井上 幸子	
事務局	1	大野市	くらし環境部 交通住宅まちづくり課	課長	砂子 淳一	
	2	大野市	くらし環境部 交通住宅まちづくり課	課長補佐	山口 太一	
	4	大野市	くらし環境部 交通住宅まちづくり課	主査	雨山 直人	
	5	大野市	くらし環境部 交通住宅まちづくり課	主事	宮下 智之	
	6	(株)日本海コンサルタント		主任担当者	神納 毅	
	7	(株)日本海コンサルタント			田中 裕利子	

公共交通の利用実績について

1. まちなか循環バス（ゆう・ゆうバス）（各年4月～9月）

1) 月別の利用状況

・R4年度（R4年9月末時点）の利用者は、合計で5,135人、1日28.1人、1便当たり3.49人であり、前年度と比べ日利用者数・便利用者数ともに8～9%増加している。

日平均利用者数 R3：25.8人/日→R4：28.1人/日（+8.7%）

便平均利用者数 R3：3.23人/便→R4：3.49人/便（+8.2%）

・前年度と比べ、北ルートは日利用者数、便利用者数が約19%増加、南ルートは日利用者数、便利用者数が約3～4%増加している。

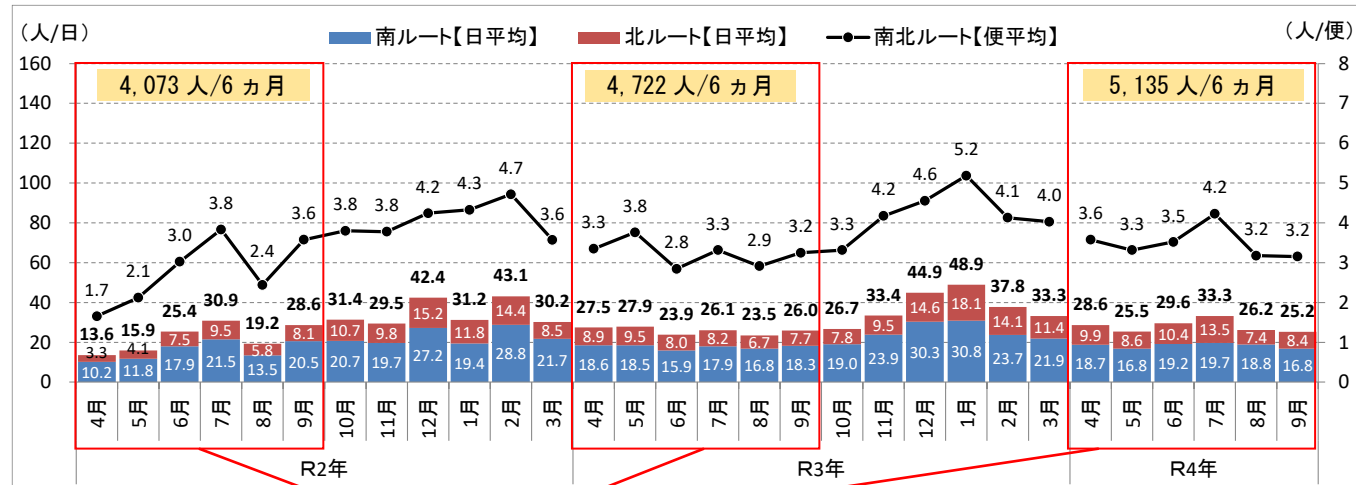
【北ルート】日平均利用者数 R3：8.1人/日→R4：9.7人/日（+19.1%）

便平均利用者数 R3：1.02人/便→R4：1.21人/便（+18.5%）

【南ルート】日平均利用者数 R3：17.7人/日→R4：18.4人/日（+4.0%）

便平均利用者数 R3：2.21人/便→R4：2.29人/便（+3.4%）

《 まちなか循環バスの月別利用状況 》



	R2年 (4-9月計)	R3年 (4-9月計)	R4年 (4-9月計)	R4年 /R3年	参考：R4年度内訳						
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	
北ルート	総利用者数	1,164	1,491	1,776	19.1%	296	267	312	420	229	252
	営業日数	183	183	183	0.0%	30	31	30	31	31	30
	運行便数	平日：10便(冬期12便)、休日：4便(～R1.6までは平日：11便)	-	-	-	10	10	10	10	10	10
	合計運行便数	1,464	1,462	1,470	0.5%	246	230	252	244	250	240
	日平均(人)	6.4	8.1	9.7	19.1%	9.9	8.6	10.4	13.5	7.4	8.4
便平均(人)	0.80	1.02	1.21	18.5%	1.2	1.2	1.2	1.7	0.9	1.1	
南ルート	総利用者数	2,909	3,231	3,359	4.0%	562	522	575	611	584	505
	営業日数	183	183	183	0.0%	30	31	30	31	31	30
	運行便数	平日：10便(冬期12便)、休日：4便(～R1.6までは平日：11便)	-	-	-	10	10	10	10	10	10
	合計運行便数	1,464	1,462	1,470	0.5%	246	230	252	244	250	240
	日平均(人)	15.9	17.7	18.4	4.0%	18.7	16.8	19.2	19.7	18.8	16.8
便平均(人)	1.99	2.21	2.29	3.4%	2.3	2.3	2.3	2.5	2.3	2.1	
合計	総利用者数	4,073	4,722	5,135	8.7%	858	789	887	1,031	813	757
	営業日数	183	183	183	0.0%	30	31	30	31	31	30
	運行便数	平日：20便(冬期24便)、休日：8便(～R1.6までは平日：22便)	-	-	-	20	20	20	20	20	20
	合計運行便数	1,464	1,462	1,470	0.5%	246	230	252	244	250	240
	日平均(人)	22.3	25.8	28.1	8.7%	28.6	25.5	29.6	33.3	26.2	25.2
便平均(人)	2.78	3.23	3.49	8.2%	3.5	3.4	3.5	4.2	3.3	3.2	

2) 便別利用状況（各年4月～9月）

・【平日】平日は1日35.4人、1便あたり3.55人の利用があり、前年度と比べ利用者数は約11%増加し、赤バス③便や青バス①②④便等の増加が見られる。

平日日利用者数 R3：32.1人/日→R4：35.4人/日（10.5%）

平日便利用者数 R3：3.21人/日→R4：3.55人/日（10.5%）

赤バス便平均利用者数 R3：2.64人/日→R4：3.00人/日（13.7%）

青バス便平均利用者数 R3：2.34人/日→R4：2.56人/日（9.5%）

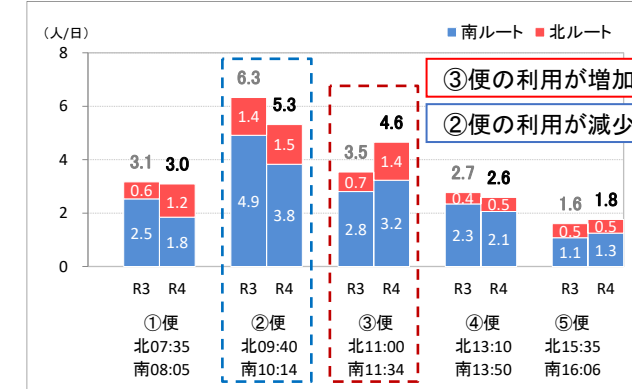
・【休日】休日（イベント便除く）は1日12.9人、1便あたり3.22人の利用があり、前年度と比べ横ばいで推移している。

・【イベント日増便】新型コロナウイルスの影響でイベントが中止となり、今年は運行していない。

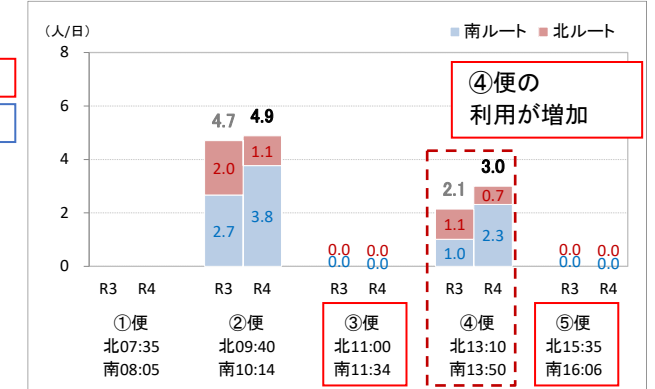
⇒昨年度から新型コロナウイルスの感染拡大は継続しているものの、徐々に利用は回復している。感染予防の観点から外出そのものを控える傾向があるが、通学、通院、買物などの日常生活に必要な移動が存在するため、公共交通における感染予防を徹底し、安全性の高い利用環境を整備した上で利用促進を図り、持続的な公共交通の形成を目指す必要がある。

【赤バス(京福バス):北ルート 時計回り → 南ルート 反時計回り】

《 平日の利用状況 》



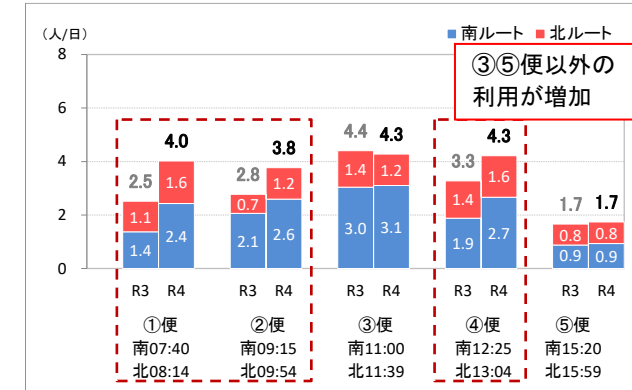
《 休日の利用状況 》



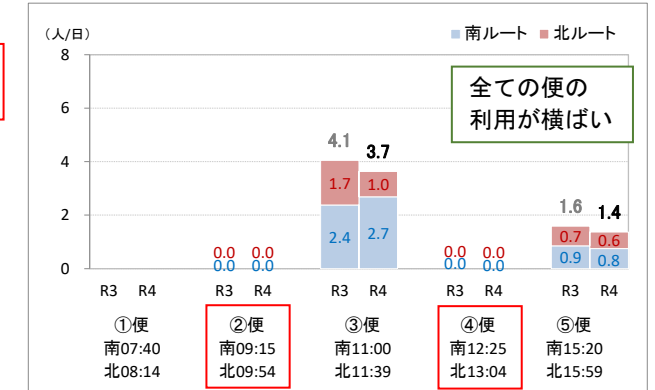
□ イベント便
(今年は未実施)

【青バス(大野観光自動車):南ルート 時計回り → 北ルート 反時計回り】

《 平日の利用状況 》



《 休日の利用状況 》



※①便は土日祝運休

⑥便は冬季(12-2月)のみ運行(青バスは4-7月は⑥便が運行)

□ イベント便
(今年は未実施)

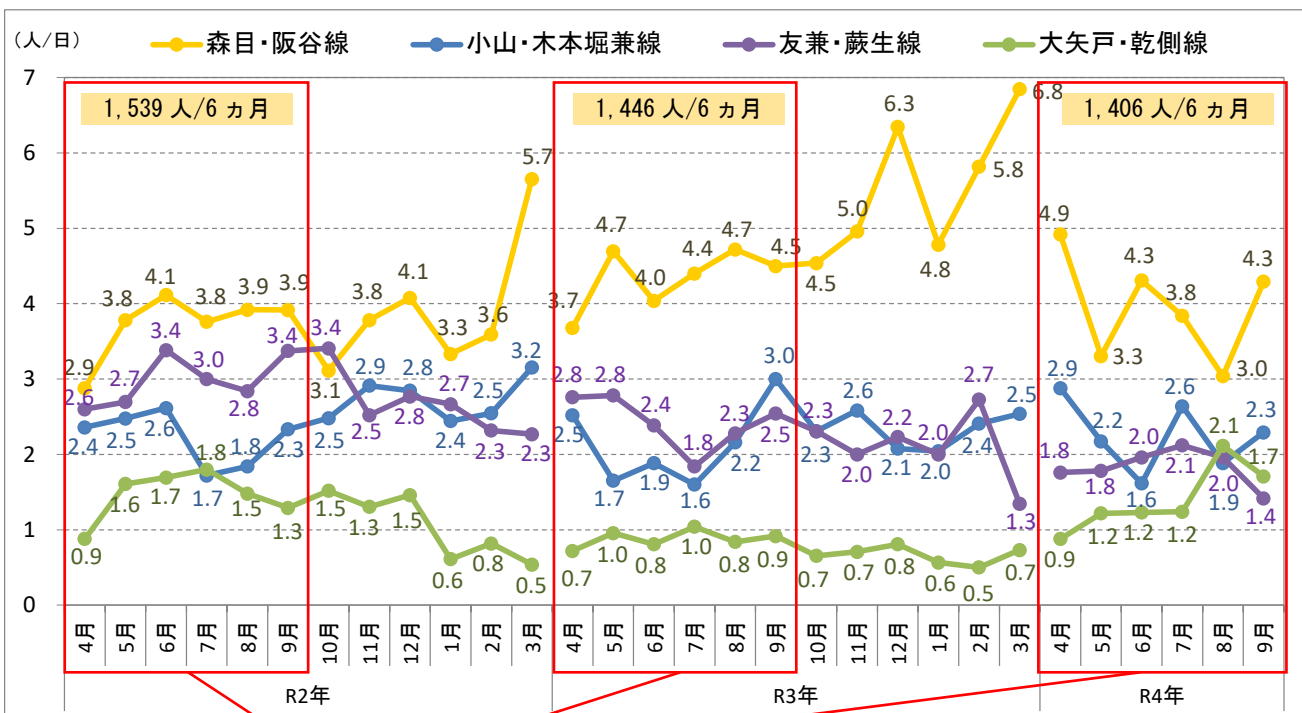
2. 乗合タクシー（各年4月～9月）

1) 月別の1日あたり平均利用状況の推移

・R4年度（R4年9月末時点）の乗合タクシー（予約運行）の利用は、合計で1,406人（R3：1,446人）、1日9.4人（R3：9.8人）の利用があり、大矢戸・乾側線、小山・木本堀兼線の利用者は増加し、友兼・蕨生線、森目・阪谷線の利用者は減少している。

日平均利用者数 森目・阪谷線 : R3 : 4.3人/日 → R4 : 4.0人/日 (▲8.7%)
 日平均利用者数 小山・木本堀兼線 : R3 : 2.1人/日 → R4 : 2.2人/日 (+5.0%)
 日平均利用者数 友兼・蕨生線 : R3 : 2.4人/日 → R4 : 1.8人/日 (▲24.2%)
 日平均利用者数 大矢戸・乾側線 : R3 : 0.9人/日 → R4 : 1.4人/日 (+59.7%)

《乗合タクシー（予約運行）の月別利用状況》



		R2年	R3年	R4年	R4年 /R3年	参考: R4年度内訳					
		(4-9月計)	(4-9月計)	(4-9月計)		4月	5月	6月	7月	8月	9月
森目・阪谷線	総利用者数	552	641	589	-8.1%	123	76	112	96	79	103
	営業日数	148	148	149	0.7%	25	23	26	25	26	24
	日平均(人)	3.7	4.3	4.0	-8.7%	4.9	3.3	4.3	3.8	3.0	4.3
小山・木本堀兼線	総利用者数	329	316	334	5.7%	72	50	42	66	49	55
	営業日数	148	148	149	0.7%	25	23	26	25	26	24
	日平均(人)	2.2	2.1	2.2	5.0%	2.9	2.2	1.6	2.6	1.9	2.3
友兼・蕨生線	総利用者数	442	359	274	-23.7%	44	41	51	53	51	34
	営業日数	148	148	149	0.7%	25	23	26	25	26	24
	日平均(人)	3.0	2.4	1.8	-24.2%	1.8	1.8	2.0	2.1	2.0	1.4
大矢戸・乾側線	総利用者数	216	130	209	60.8%	22	28	32	31	55	41
	営業日数	148	148	149	0.7%	25	23	26	25	26	24
	日平均(人)	1.5	0.9	1.4	59.7%	0.9	1.2	1.2	1.2	2.1	1.7
合計	総利用者数	1,539	1,446	1,406	-2.8%	261	195	237	246	234	233
	日平均(人)	10.4	9.8	9.4	-3.4%	10.4	8.5	9.1	9.8	9.0	9.7

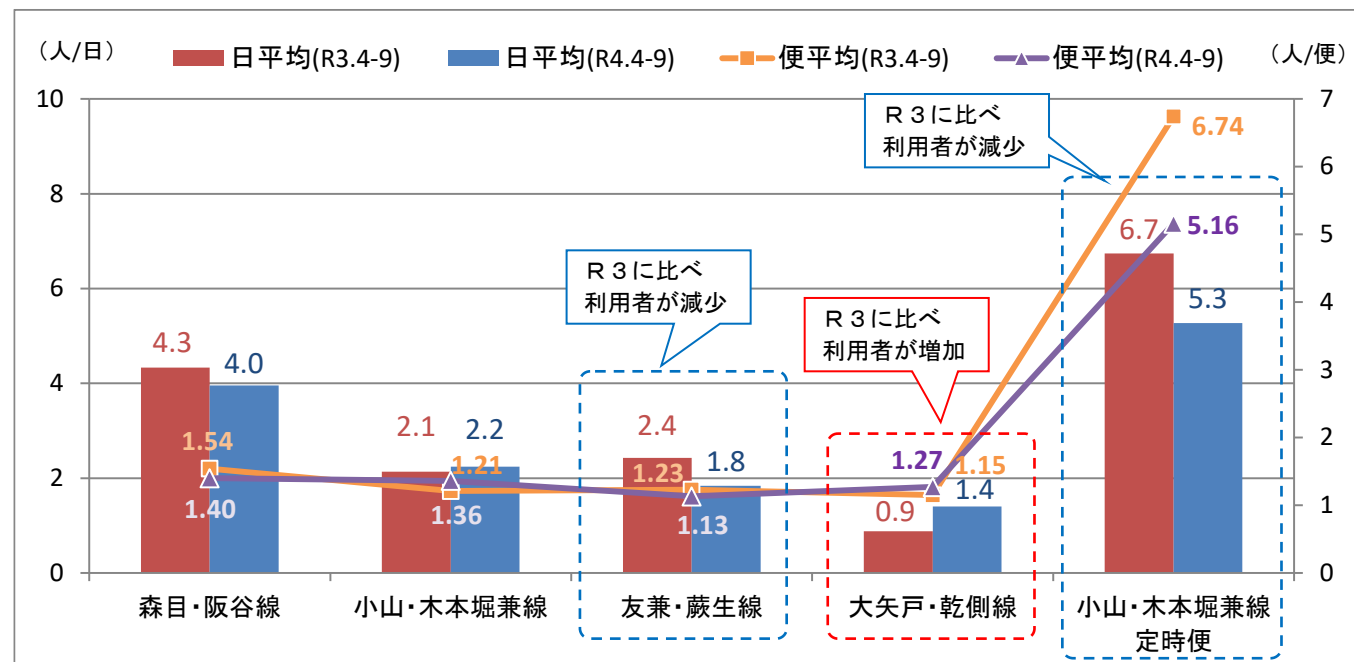
2) 便あたり利用者数の比較

・前年度と比べ予約運行の便平均利用者は大矢戸・乾側線が増加、森目・阪谷線、小山・木本堀兼線が横ばい、友兼・蕨生線が減少し、小山・木本堀兼線の定時便（通学利用）は日・便平均利用者数ともに減少している。

森目・阪谷線 R3 : 1.54人/便 → R4 : 1.40人/便 (▲9.1%)
 小山・木本堀兼線 R3 : 1.21人/便 → R4 : 1.36人/便 (+12.4%)
 友兼・蕨生線 R3 : 1.23人/便 → R4 : 1.13人/便 (▲8.1%)
 大矢戸・乾側線 R3 : 1.15人/便 → R4 : 1.27人/便 (+10.4%)
 予約便合計 R3 : 1.34人/便 → R4 : 1.31人/便 (▲2.2%)
 定時便（通学利用） R3 : 6.74人/便 → R4 : 5.16人/便 (▲23.4%)
 (R3 : 6.7人/日 → R4 : 5.3人/日 (▲21.7%))

⇒大矢戸・乾側線は日常利用する固定客の増加に伴い、日平均利用者数が増加していると想定される。
 小山木本・堀兼線の定時便は通学児童の減少に伴い、利用が減少していると想定される。

《乗合タクシーの日・便利用状況（各年4月～9月）》



	運行日数(日)		運行便数(便)		総利用者(人)		日平均(人/日)		便数平均(人/便)	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
森目・阪谷線	148	149	417	422	641	589	4.3	4.0	1.54	1.40
小山・木本堀兼線	148	149	262	246	316	334	2.1	2.2	1.21	1.36
友兼・蕨生線	148	149	291	243	359	274	2.4	1.8	1.23	1.13
大矢戸・乾側線	148	149	113	164	130	209	0.9	1.4	1.15	1.27
小山・木本堀兼線 定時便	92	91	92	93	620	480	6.7	5.3	6.74	5.16
小計(区域運行)	-	-	1,083	1,075	1,446	1,406	9.8	9.4	1.34	1.31
合計(定時便含む)	-	-	1,175	1,168	2,066	1,886	16.5	14.7	1.76	1.61

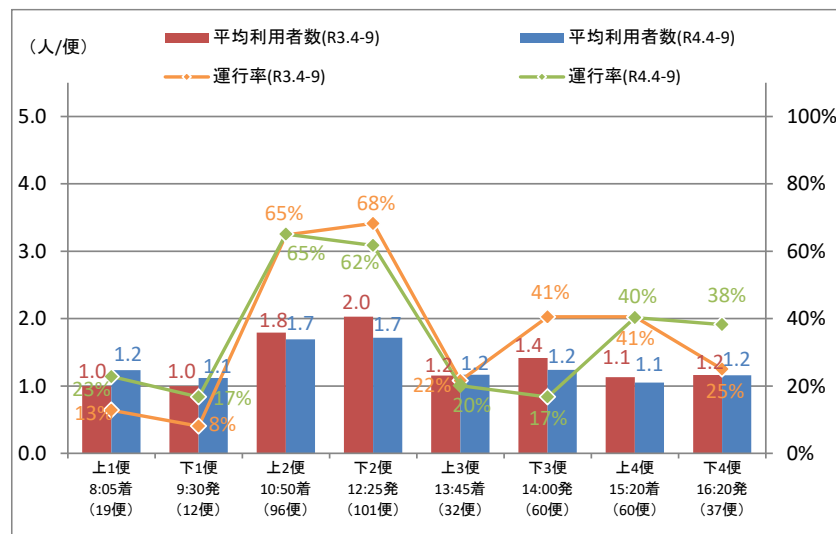
※日平均利用者数: 利用者数を実際に運行した日数で除した値

3) 便別利用状況 (予約運行について)

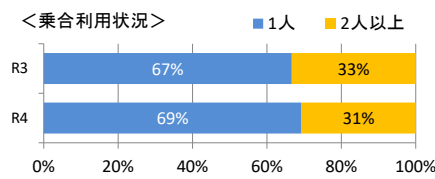
(1) 森目・阪谷線

・大野駅 10:50 着便 (上2便)、大野駅 12:25 発便 (下2便) の利用が約 2 人/便と多いものの、前年と比べほとんどの便で利用が横ばいである (2 人以上の乗合利用率: 31%、平均運行率: 約 35%)。

(便別利用状況)



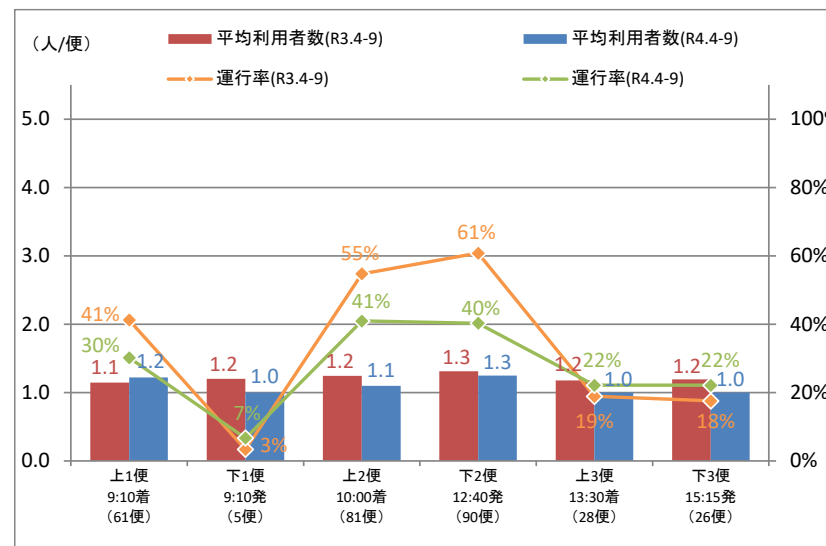
	R3.4-9			R4.4-9		
	総利用者数 (人)	平均利用者数 (人/便)	運行率 (%)	総利用者数 (人)	平均利用者数 (人/便)	運行率 (%)
上1便	19	1.00	12.8%	42	1.24	22.8%
下1便	12	1.00	8.1%	28	1.12	16.8%
上2便	172	1.79	64.9%	164	1.69	65.1%
下2便	205	2.03	68.2%	158	1.72	61.7%
上3便	37	1.16	21.6%	35	1.17	20.1%
下3便	85	1.42	40.5%	31	1.24	16.8%
上4便	68	1.13	40.5%	63	1.05	40.3%
下4便	43	1.16	25.0%	66	1.16	38.3%
合計	641	1.54	35.2%	587	1.40	35.2%



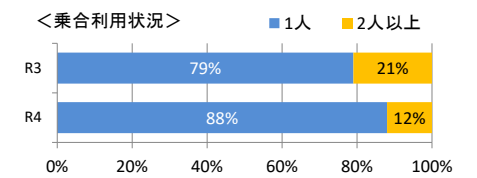
(3) 友兼・蕨生線

・各便ともに概ね 1 人/便程度の利用で運行率が低く、前年と比べ上1便、上2便、下2便の運行率が減少している (2 人以上の乗合利用率: 12%、平均運行率: 約 20%)。

(便別利用状況)



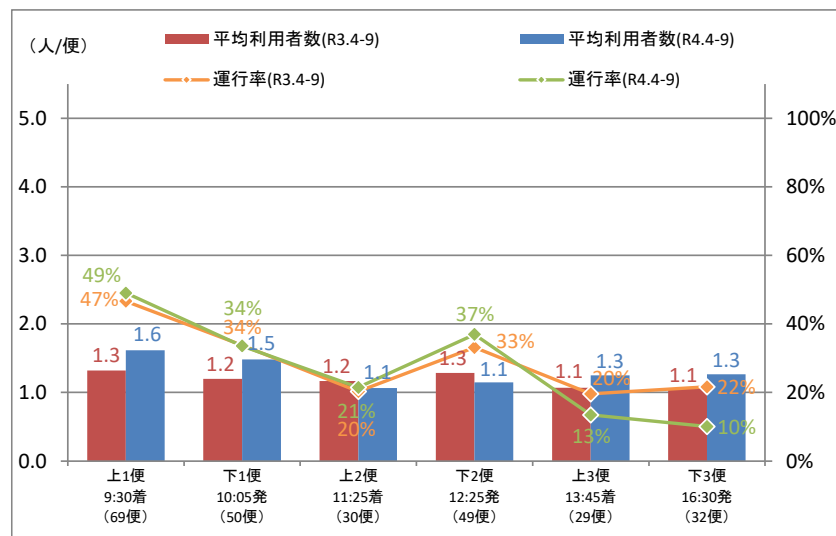
	R3.4-9			R4.4-9		
	総利用者数 (人)	平均利用者数 (人/便)	運行率 (%)	総利用者数 (人)	平均利用者数 (人/便)	運行率 (%)
上1便	70	1.15	41.2%	55	1.22	30.2%
下1便	6	1.20	3.4%	10	1.00	6.7%
上2便	101	1.25	54.7%	67	1.10	40.9%
下2便	118	1.31	60.8%	75	1.25	40.3%
上3便	33	1.18	18.9%	33	1.00	22.1%
下3便	31	1.19	17.6%	33	1.00	22.1%
合計	359	1.23	24.6%	273	1.13	20.3%



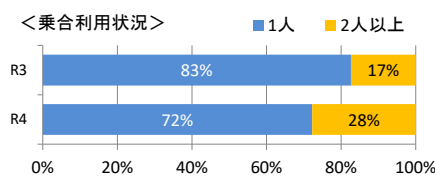
(2) 小山・木本堀兼線

・大野駅 9:30 着 (上1便)、大野駅 10:05 発 (下1便) の利用が約 2 人/便と午前中の便で利用者がやや多くなっているものの、前年度と比べほとんどの便で利用が横ばいである。2 人以上での乗合利用率が、前年と比べ増加している (2 人以上の乗合利用率: 28%、平均運行率: 約 21%)。

(便別利用状況)



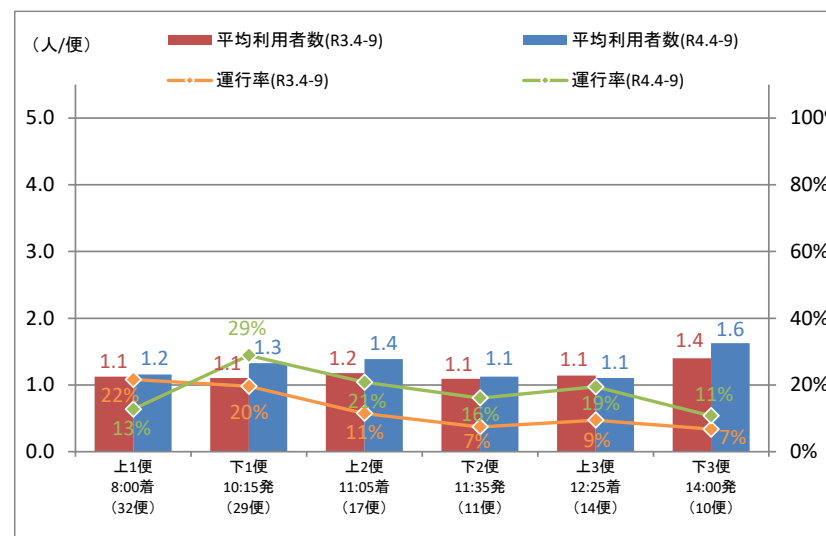
	R3.4-9			R4.4-9		
	総利用者数 (人)	平均利用者数 (人/便)	運行率 (%)	総利用者数 (人)	平均利用者数 (人/便)	運行率 (%)
上1便	91	1.32	46.6%	118	1.62	49.0%
下1便	60	1.20	33.8%	74	1.48	33.6%
上2便	35	1.17	20.3%	34	1.06	21.5%
下2便	63	1.29	33.1%	63	1.15	36.9%
上3便	31	1.07	19.6%	25	1.25	13.4%
下3便	34	1.06	21.6%	19	1.27	10.1%
合計	314	1.21	21.9%	333	1.36	20.6%



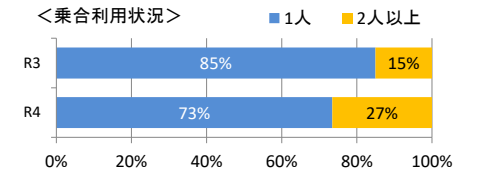
(4) 大矢戸・乾側線

・各便ともに概ね 1 人/便程度の利用で運行率が低いが、前年と比べ上1便以外の運行率が増加している。2 人以上での乗合利用率が、前年と比べ増加している (2 人以上の乗合利用率: 27%、平均運行率: 約 14%)。

(便別利用状況)



	R3.4-9			R4.4-9		
	総利用者数 (人)	平均利用者数 (人/便)	運行率 (%)	総利用者数 (人)	平均利用者数 (人/便)	運行率 (%)
上1便	36	1.13	21.6%	22	1.16	12.8%
下1便	32	1.10	19.6%	57	1.33	28.9%
上2便	20	1.18	11.5%	43	1.39	20.8%
下2便	12	1.09	7.4%	27	1.13	16.1%
上3便	16	1.14	9.5%	32	1.10	19.5%
下3便	14	1.40	6.8%	26	1.63	10.7%
合計	130	1.15	9.5%	207	1.28	13.6%



※1 各グラフの凡例は以下の通り
 平均利用者数: 利用者数を実際に運行した便で除した値
 運行率: 設定した運行便数を実際の運行便数で除した値
 各便の時間: 大野駅発着の時間、(): 運行した回数

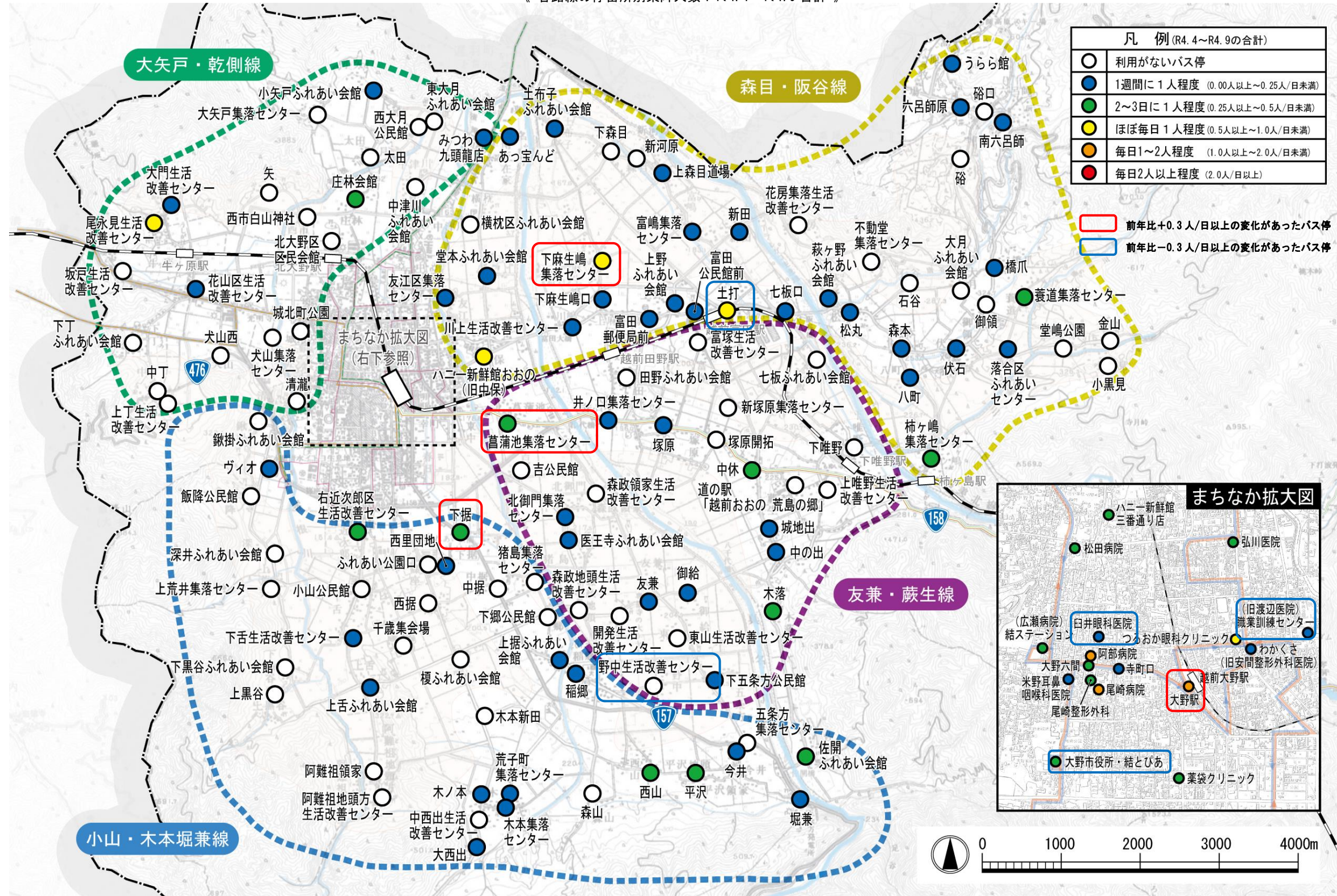
※2 各路線の便ごとの利用者数は予約時点での集計となるため、総利用者とは異なる

4) 路線別停留所の利用状況（予約運行のみ、4月～9月）

- ・まちなかの停留所：各路線ともに、目的地となる「病院」の利用が減少傾向にあり、通院を控えている状況が続いているとみられる。
- ・大矢戸・乾側線：大幅な変化はみられず、「尾永見」などの一部の利用に限定されている。
- ・小山・木本堀兼線：「右近次郎区」「西山」「平沢」「佐開」などで利用がみられるほか、前年度と比べ「下据」で新たな利用がみられる。

- ・森目・阪谷線：「下麻生嶋」「ハニー新鮮館おおの」「土打」などで利用がみられ、前年度と比べ「下麻生嶋」の利用が増加しているが、「土打」の利用が減少している。
- ・友兼・葦生線：「菖蒲池」「中休」「木落」などで利用がみられ、前年度と比べ「菖蒲池」の利用が増加しているが、「野中」の利用が減少している。

《各路線の停留所別乗降人数：R4.4～R4.9合計》



参考. 各バス停の利用状況（設定した運行日平均乗降人数）

《 森目・阪谷線の停留所別乗降人数 》

	R3.4-R3.9		R4.4-R4.9		R4-R3
	乗降者数		乗降者数		
	合計	日平均	合計	日平均	
まちなか 計	585	3.7	473	3.2	-0.6
大野駅	42	0.3	52	0.3	0.1
つるおか眼科クリニック	49	0.3	67	0.4	0.1
わかくさ(旧安間整形外科医院)	10	0.1	11	0.1	0.0
職業訓練センター(旧渡辺医院)	92	0.6	36	0.2	-0.4
葉袋クリニック	-	-	-	-	-
寺町口	0	0.0	0	0.0	0.0
阿部病院	78	0.5	62	0.4	-0.1
臼井眼科医院	67	0.5	21	0.1	-0.3
尾崎病院(04)	96	0.6	67	0.4	-0.2
尾崎整形外科(05)	3	0.0	5	0.0	0.0
米野耳鼻咽喉科医院	5	0.0	29	0.2	0.2
大野六間	9	0.1	26	0.2	0.1
大野市役所・結とびあ	27	0.2	34	0.2	0.0
結ステーション(広瀬病院)	12	0.1	8	0.1	0.0
松田病院	37	0.3	18	0.1	-0.1
弘川医院	58	0.4	37	0.2	-0.1
ハニー新鮮館三番通り店	-	-	-	-	-
横枕区ふれあい会館	6	0.0	0	0.0	0.0
堂本ふれあい会館	1	0.0	5	0.0	0.0
友江区集落センター	31	0.2	8	0.1	-0.2
ハニー新鮮館おおの	100	0.7	125	0.8	0.2
川上生活改善センター	0	0.0	21	0.1	0.1
下麻生嶋口	9	0.1	14	0.1	0.0
下麻生嶋集落センター	35	0.2	131	0.9	0.6
土布子ふれあい会館	0	0.0	5	0.0	0.0
下森目	0	0.0	0	0.0	0.0
新河原	0	0.0	0	0.0	0.0
上森目道場	12	0.1	16	0.1	0.0
富嶋集落センター	17	0.1	2	0.0	-0.1
新田	15	0.1	13	0.1	0.0
富田郵便局前	20	0.1	9	0.1	-0.1
上野ふれあい会館	60	0.4	32	0.2	-0.2
富田公民館前	33	0.2	4	0.0	-0.2
土打	142	1.0	105	0.7	-0.3
七坂口	0	0.0	22	0.1	0.1
花房集落生活改善センター	1	0.0	0	0.0	0.0
不動堂集落センター	0	0.0	0	0.0	0.0
石谷	0	0.0	0	0.0	0.0
萩ヶ野ふれあい会館	31	0.2	16	0.1	-0.1
松丸	6	0.0	4	0.0	0.0
柿ヶ嶋集落センター	51	0.3	49	0.3	0.0
八町	0	0.0	2	0.0	0.0
森本	5	0.0	8	0.1	0.0
伏石	24	0.2	11	0.1	-0.1
落合区ふれあいセンター	0	0.0	6	0.0	0.0
小黒見	6	0.0	0	0.0	0.0
金山	0	0.0	0	0.0	0.0
堂嶋公園	0	0.0	0	0.0	0.0
葦道集落センター	62	0.4	65	0.4	0.0
御領	0	0.0	0	0.0	0.0
大月ふれあい会館	0	0.0	0	0.0	0.0
橋爪	3	0.0	9	0.1	0.0
南六呂師	0	0.0	1	0.0	0.0
碓	0	0.0	0	0.0	0.0
碓口	12	0.1	0	0.0	-0.1
六呂師原	6	0.0	11	0.1	0.0
うらら館(旧六呂師スキー場)	6	0.0	6	0.0	0.0
あっ宝んど	0	0.0	1	0.0	0.0
合計	1,279	8.4	1,174	7.9	-0.6

《 小山・木本堀兼線の停留所別乗降人数 》

	R3.4-R3.9		R4.4-R4.9		R4-R3
	乗降者数		乗降者数		
	合計	日平均	合計	日平均	
まちなか 計	307	2.2	313	2.2	-0.1
大野駅	14	0.1	34	0.2	0.1
つるおか眼科クリニック	11	0.1	29	0.2	0.1
わかくさ(旧安間整形外科医院)	5	0.0	0	0.0	0.0
職業訓練センター(旧渡辺医院)	4	0.0	1	0.0	0.0
葉袋クリニック	32	0.2	43	0.3	0.1
寺町口	44	0.3	19	0.1	-0.2
阿部病院	51	0.3	41	0.3	-0.1
臼井眼科医院	17	0.1	8	0.1	-0.1
尾崎病院(04)	14	0.1	22	0.1	0.1
尾崎整形外科(05)	48	0.3	52	0.3	0.0
米野耳鼻咽喉科医院	13	0.1	4	0.0	-0.1
大野六間	19	0.1	14	0.1	0.0
大野市役所・結とびあ	21	0.1	9	0.1	-0.1
結ステーション(広瀬病院)	14	0.1	37	0.2	0.2
松田病院	0	0.0	0	0.0	0.0
弘川医院	0	0.0	0	0.0	0.0
ハニー新鮮館三番通り店	-	-	-	-	-
鍛掛ふれあい会館	3	0.0	0	0.0	0.0
飯降公民館	0	0.0	0	0.0	0.0
深井ふれあい会館	0	0.0	0	0.0	0.0
上荒井集落センター	0	0.0	0	0.0	0.0
右近次郎区生活改善センター	79	0.5	62	0.4	-0.1
小山公民館	0	0.0	0	0.0	0.0
ふれあい公園口	0	0.0	0	0.0	0.0
西里団地	0	0.0	1	0.0	0.0
下堀	0	0.0	40	0.3	0.3
猪島集落センター	0	0.0	0	0.0	0.0
中堀	0	0.0	0	0.0	0.0
西堀	0	0.0	0	0.0	0.0
千歳集会所	0	0.0	0	0.0	0.0
下舌生活改善センター	17	0.1	11	0.1	0.0
下黒谷ふれあい会館	0	0.0	0	0.0	0.0
上黒谷	24	0.2	0	0.0	-0.2
上舌ふれあい会館	0	0.0	1	0.0	0.0
阿難祖領家	0	0.0	0	0.0	0.0
阿難祖地頭方生活改善センター	0	0.0	0	0.0	0.0
木本新田	0	0.0	0	0.0	0.0
木ノ本	0	0.0	2	0.0	0.0
中西出生活改善センター	0	0.0	0	0.0	0.0
大西出	0	0.0	18	0.1	0.1
木本集落センター	8	0.1	10	0.1	0.0
荒子町集落センター	16	0.1	4	0.0	-0.1
榎ふれあい会館	1	0.0	0	0.0	0.0
下郷公民館	0	0.0	0	0.0	0.0
上堀ふれあい会館	4	0.0	12	0.1	0.1
稲郷	24	0.2	34	0.2	0.1
森山	0	0.0	0	0.0	0.0
西山	49	0.3	49	0.3	0.0
平沢	48	0.3	39	0.3	-0.1
今井	2	0.0	10	0.1	0.1
五方集落センター	0	0.0	0	0.0	0.0
佐開ふれあい会館	26	0.2	50	0.3	0.2
堀兼	2	0.0	1	0.0	0.0
ヴィオ	18	0.1	9	0.1	-0.1
合計	628	4.4	666	4.5	0.1

《 友兼・蕨生線の停留所別乗降人数 》

	R3.4-R3.9		R4.4-R4.9		R4-R3
	乗降者数		乗降者数		
	合計	日平均	合計	日平均	
まちなか 計	355	3.0	265	1.9	-1.1
大野駅	52	0.4	70	0.5	0.1
つるおか眼科クリニック	50	0.3	23	0.2	-0.2
わかくさ(旧安間整形外科医院)	9	0.1	4	0.0	0.0
職業訓練センター(旧渡辺医院)	1	0.0	0	0.0	0.0
葉袋クリニック	-	-	-	-	-
寺町口	0	0.0	0	0.0	0.0
阿部病院	46	0.3	45	0.3	0.0
臼井眼科医院	21	0.1	4	0.0	-0.1
尾崎病院(04)	21	0.1	74	0.5	0.4
尾崎整形外科(05)	25	0.2	16	0.1	-0.1
米野耳鼻咽喉科医院	2	0.0	0	0.0	0.0
大野六間	0	0.0	0	0.0	0.0
大野市役所・結とびあ	89	0.6	16	0.1	-0.5
結ステーション(広瀬病院)	38	0.3	10	0.1	-0.2
松田病院	0	0.0	0	0.0	0.0
弘川医院	1	0.0	3	0.0	0.0
ハニー新鮮館三番通り店	-	-	-	-	-
菖蒲池集落センター	7	0.0	70	0.5	0.4
吉公民館	0	0.0	0	0.0	0.0
森政領家生活改善センター	11	0.1	0	0.0	-0.1
北御門集落センター	4	0.0	3	0.0	0.0
医王寺ふれあい会館	1	0.0	1	0.0	0.0
井ノ口集落センター	51	0.3	15	0.1	-0.2
田野ふれあい会館	0	0.0	0	0.0	0.0
塚原	0	0.0	7	0.0	0.0
塚原開拓	2	0.0	0	0.0	0.0
富塚生活改善センター	0	0.0	0	0.0	0.0
森政地頭生活改善センター	0	0.0	0	0.0	0.0
開発生活改善センター	0	0.0	0	0.0	0.0
友兼	50	0.3	30	0.2	-0.1
御給	0	0.0	1	0.0	0.0
東山生活改善センター	0	0.0	0	0.0	0.0
野中生活改善センター	83	0.6	0	0.0	-0.6
下五条公民館	6	0.0	14	0.1	0.1
木落	30	0.2	43	0.3	0.1
中の出	28	0.2	5	0.0	-0.2
城地出	17	0.1	17	0.1	0.0
中休	54	0.4	55	0.4	0.0
上唯野生活改善センター	0	0.0	0	0.0	0.0
下唯野	4	0.0	0	0.0	0.0
七坂ふれあい会館	0	0.0	0	0.0	0.0
新塚原集落センター	0	0.0	0	0.0	0.0
道の駅「越前おおの 荒島の郷」	0	0.0	0	0.0	0.0
合計	703	5.3	526	3.6	-1.7

《 大矢戸・乾側線の停留所別乗降人数 》

	R3.4-R3.9		R4.4-R4.9		R4-R3
	乗降者数		乗降者数		
	合計	日平均	合計	日平均	
まちなか 計	118	0.7	222	1.2	0.5
大野駅	28	0.2	49	0.3	0.1
つるおか眼科クリニック	6	0.0	6	0.0	0.0
わかくさ(旧安間整形外科医院)	0	0.0	0	0.0	0.0
職業訓練センター(旧渡辺医院)	2	0.0	0	0.0	0.0
葉袋クリニック	-	-	-	-	-
寺町口	1	0.0	1	0.0	0.0
阿部病院	22	0.1	29	0.2	0.0
臼井眼科医院	0	0.0	0	0.0	0.0
尾崎病院(04)	0	0.0	0	0.0	0.0
尾崎整形外科(05)	0	0.0	0	0.0	0.0
米野耳鼻咽喉科医院	0	0.0	0	0.0	0.0
大野六間	24	0.2	25	0.2	0.0
大野市役所・結とびあ	6	0.0	5	0.0	0.0
結ステーション(広瀬病院)	5	0.0	9	0.1	0.0
松田病院	7	0.0	53	0.4	0.3
弘川医院	6	0.0	2	0.0	0.0
ハニー新鮮館三番通り店	11	0.1	43	0.3	0.3
清瀬	0	0.0	0	0.0	0.0
城北町公園	0	0.0	0	0.0	0.0
大山集落センター	0	0.0	0	0.0	0.0
犬山西	0	0.0	0	0.0	0.0
上下生活改善センター	0	0.0	0	0.0	0.0
中丁	0	0.0</			

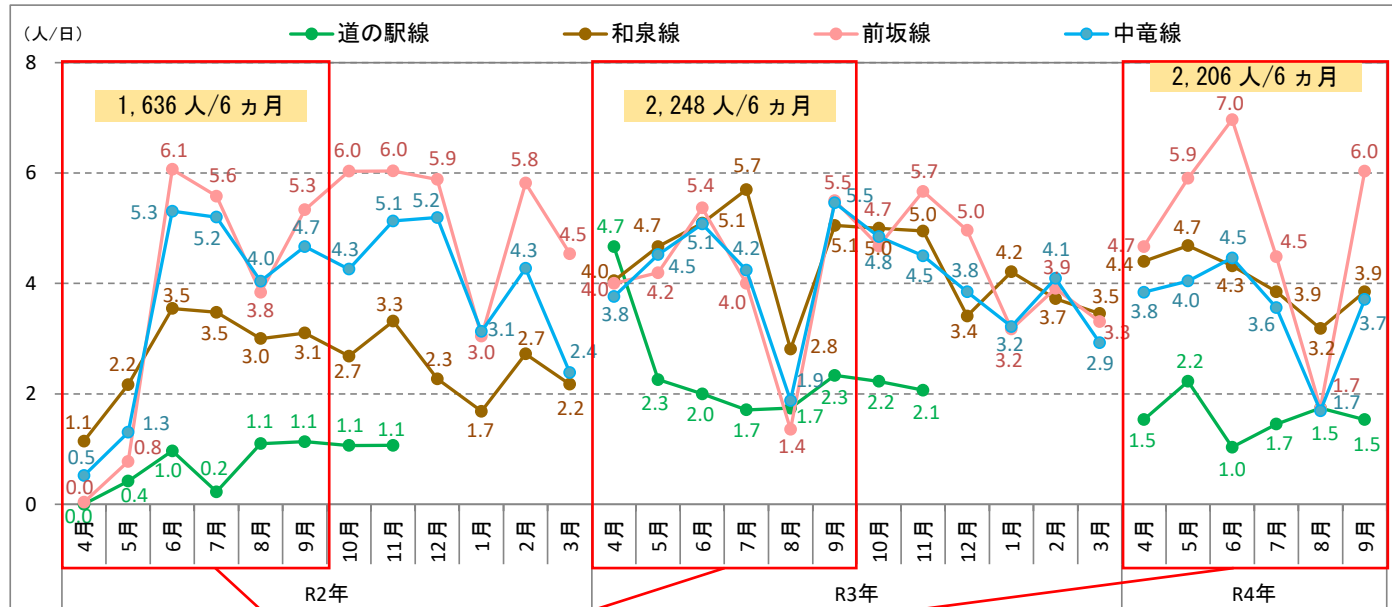
3. 市営バス（各年4月～9月）

1) 月別の1日あたり利用状況の推移

- ・R4年（R4年9月末時点）の利用者数は、道の駅線が291人、和泉線が496人、前坂線が892人、中竜線が527人であり、合計は2,206人、14.1人/日（R2：2,248人、14.9人/日）となっており、前年と比べ前坂線を除き、総利用者・日利用者ともに減少している。
- ・前坂線は前年度に比べいずれの月も利用者が増加しており、5、6月の利用が大幅に増加している。

日平均利用者数	道の駅線	R3：2.2人/日→R4：1.6人/日（▲26.2%）
日平均利用者数	和泉線	R3：4.5人/日→R4：4.0人/日（▲11.4%）
日平均利用者数	前坂線	R3：4.1人/日→R4：5.0人/日（+22.2%）
日平均利用者数	中竜線	R3：4.1人/日→R4：3.5人/日（▲14.7%）

《市営バスの月別利用状況》



	R2年 (4-9月計)	R3年 (4-9月計)	R4年 (4-9月計)	R4年/R3年	参考：R4年度内訳						
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	
道の駅線	総利用者数	117	349	291	-16.6%	46	69	31	45	54	46
	営業日数	155	162	183	13.0%	30	31	30	31	31	30
	日平均利用者数	0.8	2.2	1.6	-26.2%	1.5	2.2	1.0	1.5	1.7	1.5
和泉線	総利用者数	336	555	496	-10.6%	88	89	95	77	70	77
	営業日数	122	122	123	0.8%	20	19	22	20	22	20
	日平均利用者数	2.8	4.5	4.0	-11.4%	4.4	4.7	4.3	3.9	3.2	3.9
前坂線	総利用者数	659	730	892	22.2%	126	183	209	139	54	181
	営業日数	180	180	180	0.0%	27	31	30	31	31	30
	日平均利用者数	3.7	4.1	5.0	22.2%	4.7	5.9	7.0	4.5	1.7	6.0
中竜線	総利用者数	524	614	527	-14.2%	96	93	116	89	44	89
	営業日数	148	148	149	0.7%	25	23	26	25	26	24
	日平均利用者数	3.5	4.1	3.5	-14.7%	3.8	4.0	4.5	3.6	1.7	3.7
合計	総利用者数	1,636	2,248	2,206	-1.9%	356	434	451	350	222	393
	日平均利用者	10.7	14.9	14.1	-5.3%	14.4	16.9	16.8	13.3	8.4	15.1

2) 便あたり利用者数の比較

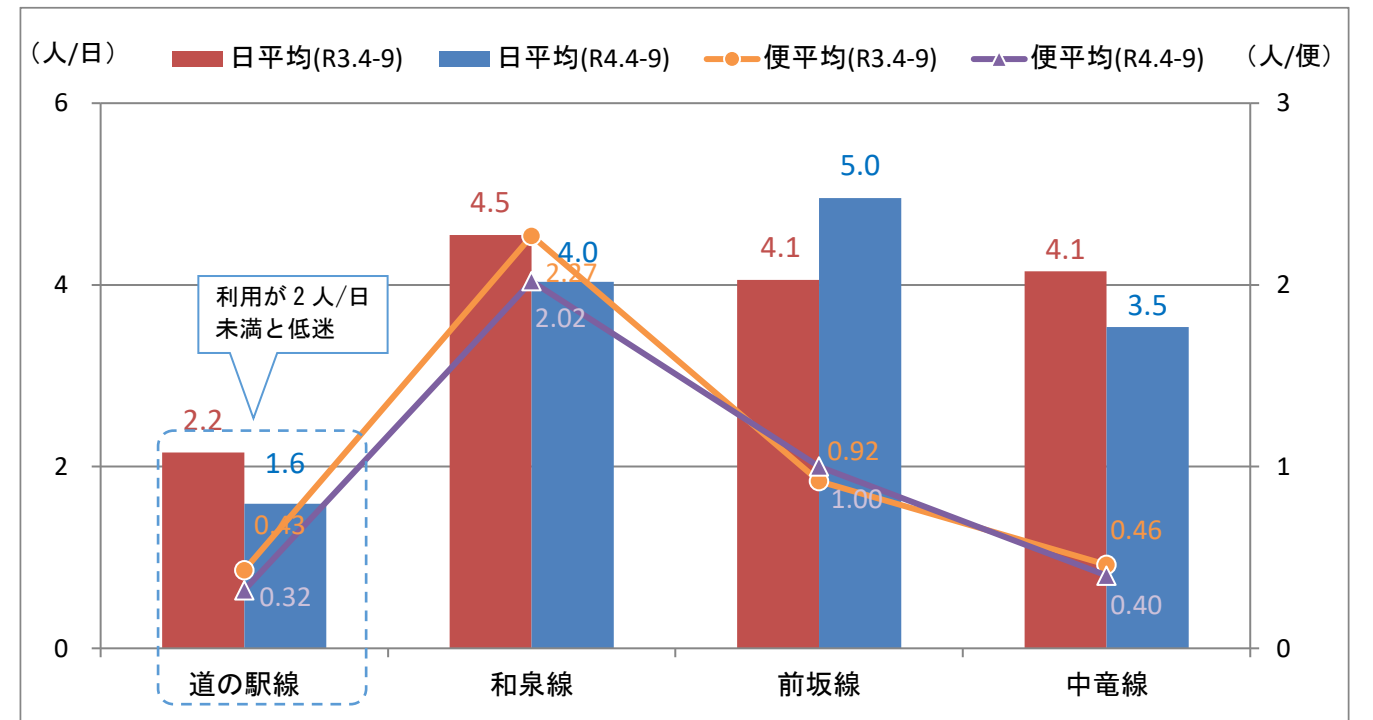
- ・前年度と比べ日利用者は、前坂線を除き減少しており、道の駅線は▲0.6人/日、和泉線が▲0.5人/日、前坂線が+0.9人/便、中竜線が▲0.6人/日となっている。
- ・前年度と比べ便利用者も、前坂線を除き減少しており、道の駅線は▲0.11人/便、和泉線が▲0.25人/便、前坂線が+0.08人/便、中竜線が▲0.06人/便となっている。

便平均利用者数	道の駅線	R3：0.43人/便 → R4：0.32人/便（▲25.6%）
便平均利用者数	和泉線	R3：2.27人/便 → R4：2.02人/便（▲11.0%）
便平均利用者数	前坂線	R3：0.92人/便 → R4：1.00人/便（+8.7%）
便平均利用者数	中竜線	R3：0.46人/便 → R4：0.40人/便（▲13.0%）

⇒道の駅線の利用者は1.6人/日と減少し、市民や来訪者の利用が促進されるよう利便性を高める必要がある。

和泉3線は引き続き、児童・生徒の通学方法を確保しながら効率的に運行する必要がある。

《市営バスの日・便別利用状況》

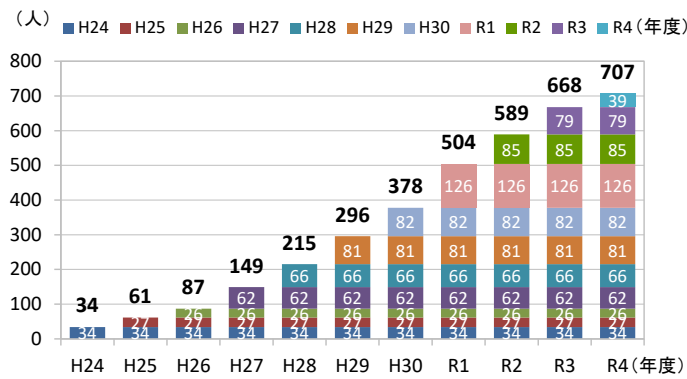


	運行日数(日)		運行便数(便)		総利用者(人)		日平均(人/日)		便数平均(人/便)	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
道の駅線	162	183	810	915	349	291	2.2	1.6	0.43	0.32
和泉線	122	123	244	246	555	496	4.5	4.0	2.27	2.02
前坂線	180	180	794	894	730	892	4.1	5.0	0.92	1.00
中竜線	148	149	1,324	1,316	614	527	4.1	3.5	0.46	0.40
合計	-	-	3,172	3,371	2,248	2,206	14.9	14.1	0.71	0.65

4. 運転免許自主返納制度の実績（R4年9月末時点）

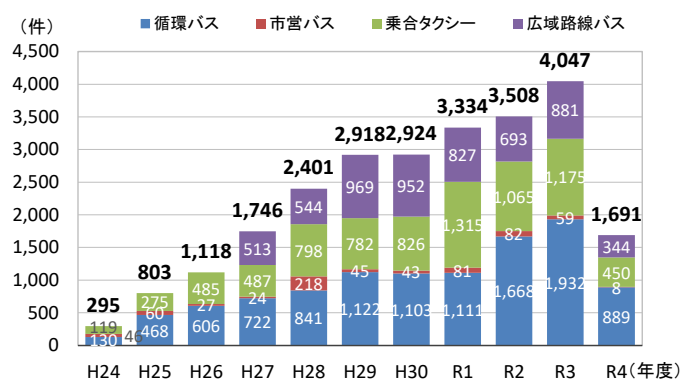
- ・R4年9月末時点の認定人数は707人であり、順調に増加している。
 - ・認定者の市内公共交通の利用状況は合計（H24～R4年9月末）で24,785件（約442万円）であり、今年度の利用の内訳は、まちなか循環バスが約53%、乗合タクシーが約27%、市営バスが約0%、広域路線バスが約20%となっている。
- R4年9月末時点 認定者数：707人（R4年度9月末で39人）
 利用件数：1,691件（1人当たり利用件数0.40件/人・月）、助成額：295,120円
- ⇒制度内容の拡充及び周知により年々認定人数が増加しており、引き続き、普及に向けた取組と車内における感染症対策を徹底し、**運転免許の自主返納を促進**する必要がある。

《 運転免許自主返納支援事業の認定人数 》



※R4年度はR4年9月末時点

《 利用件数 》



※R4年度はR4年9月末時点

《 市内公共交通の主要指標一覧表（各年度（4～9月）の比較） 》

		R3			R4			増減(R4-R3)		
		総利用者	1日平均 (人/日)	1便平均 (人/便)	総利用者	1日平均 (人/日)	1便平均 (人/便)	総利用者	1日平均 (人/日)	1便平均 (人/便)
合計	利用者数	9,036	44.3	1.56	9,227	42.9	1.54	191	-1.5	-0.02
	運行経費	3,567万円(3,948円/人)			3,787万円(4,104円/人)			+220万円(+156円/人)		
まちなか循環バス (ゆう・ゆうバス)	赤バス	2,505	13.7	3.43	2,487	13.6	3.38	-18	-0.1	-0.05
	青バス	2,217	12.1	3.03	2,648	14.5	3.60	431	2.4	0.57
	計	4,722	12.9	3.23	5,135	14.0	3.49	413	1.1	0.26
	運行経費	1,210万円(2,562円/人)			1,276万円(2,485円/人)			+66万円(+77円/人)		
	乗合タクシー	森目・阪谷線	641	4.3	1.54	589	4.0	1.40	-52	-0.4
小山・木本堀兼線		316	2.1	1.21	334	2.2	1.36	18	0.1	0.15
友兼・蕨生線		359	2.4	1.23	274	1.8	1.13	-85	-0.6	-0.11
大矢戸・乾側線		130	0.9	1.15	209	1.4	1.27	79	0.5	0.12
スクール便		620	6.7	6.74	480	5.3	5.16	-140	-1.5	-1.58
計		2,066	16.5	1.76	1,886	14.7	1.61	-180	-1.8	-0.14
	運行経費	1,120万円(5,421円/人)			1,132万円(6,002円/人)			+12万円(+581円/人)		
	市営バス	道の駅線	349	2.2	0.43	291	1.6	0.32	-58	-0.6
和泉線		555	4.5	2.27	496	4.0	2.02	-59	-0.5	-0.26
前坂線		730	4.1	0.92	892	5.0	1.00	162	0.9	0.08
中竜線		614	4.1	0.46	527	3.5	0.40	-87	-0.6	-0.06
計		2,248	14.9	0.71	2,206	14.1	0.65	-42	-0.8	-0.05
	運行経費	1,237万円(5,503円/人)			1,379万円(6,251円/人)			+142万円(+748円/人)		

※1 各年4月～9の合計、※2 運行経費は、総額（万円）、（ ）内は利用者1人当たり換算額（円/人）
 ※3 四捨五入により、合計値と積上げ値、図と表の値が異なる場合がある

5. 現況・課題の整理及び今後の方向性

1) 全体

現状・課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は横ばいであり、コロナ禍前と比べ市内公共交通の利用者は依然として少なく、需要がコロナ禍前の水準に戻ることは困難な状況 ・感染症拡大を契機としたライフスタイルや価値観の変化、環境への配慮に対する意識の高まりへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズ/アフターコロナを見据えた公共交通のあり方の検討 ・北陸新幹線福井・敦賀開業を見据えた新たな地域交通体系の整備（ふくいMa a S協議会における広域連携） →地域公共交通計画の策定及び市内公共交通ネットワーク再構築の検討 →他分野との連携をはじめとした「共創」の検討

2) まちなか循環バス（ゆう・ゆうバス）

現状・課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・R2以降、徐々に利用が増加しているが、コロナ禍前と比べ約2割減少 ・通学便（朝1便）は増加傾向にあるが、利用が依然として少ない（特に、北ルートの利用が少ない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用ニーズ等を踏まえた運行内容（ダイヤ改正等）の検討 ・定期券購入者への買い物券発行サービスやイベント便のPR及びバス無料券配布の継続 →ニーズや利用実態、他の公共交通ネットワーク再構築にあわせた運行内容の見直し検討

3) 乗合タクシー

現状・課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・森目・阪谷線、友兼・蕨生線で利用が減少 ・特に、病院前の停留所の利用が少ない状況が続いており、高齢者を中心とした通院等の外出機会の低下 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・福祉・市民生活分野の部署や老人会・公民館等と連携した説明会やマイ時刻表の継続 ・地域住民のヒアリングを踏まえた利便性向上に向けた運行内容の検討 →ニーズ等を踏まえた新たなデマンド交通の検討、地域の実情に応じた共助型交通の導入検討

4) 市営バス

現状・課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・通学利用の前坂線のみ利用が増加 ・道の駅線の1日当たりの利用は低く、2人/日未満と減少している ・中部縦貫自動車道 大野IC-九頭竜ICの開通、中学校再編が控えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・和泉地域における児童・生徒の通学手段等の確保及び利用の少ない便の利便性向上 ・道の駅線の利用状況を踏まえた運行内容の見直し →中部縦貫自動車道の開通や中学校再編を見据えた公共交通ネットワーク再構築の検討

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名:大野市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名・運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	A・B・C評価	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】 【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画のように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
まちなか循環バス		▼R3年評価結果の反映状況		R4年度目標:年間利用者19,000人、便利利用者6.08人、収支率8.1%	
・京福バス株式会社 「まちなか循環バス赤バス」 ・大野観光自動車株式会社 「まちなか循環バス青バス」	越前大野駅を中心に、市街地北部と市街地南部を8の字で運行する路線定時運行	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の継続実施 ・市内高校における保護者向け説明会・チラシの配布による利用喚起 ・交通利用が分からない者に対し、マイ時刻表を作成による利用促進 ・高齢者の集会における市内公共交通の周知説明による利用促進 ・定期券購入者に対する買い物券や市営バス道の駅線割引券の発行 ・定期券の障がい者等割引導入 ・運転免許自主返納支援事業等の継続的実施 ・運行の安全性確保のためのルート変更 ・他の公共交通との接続強化のためのダイヤ変更 ・「篠座神社参道口」の停留所移設 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年利用者数:11,771人(-7,229人) ・便利利用者:3.86人(-2.22人) ・収支率:4.0%(-4.1ポイント) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の継続・改善 ・安全性の周知・PRの実施による利用促進(特に高校生等の通学利用への喚起) ・マイ時刻表の周知や総合時刻表マップの配布による利用促進 ・観光や商業等のまちづくりとの連携による新たなお出かけの創出による利用促進(バス乗車無料券の配布など) ・運行内容(ダイヤ改正等)の見直し検討
乗合タクシー		▼R3年評価結果の反映状況		R4年度目標:年間利用者5,370人、便利利用者2.01人、収支率7.7%	
大野旅客自動車有限会社 「乗合タクシー大矢戸・乾側線」(予約)	市北西部の下庄・乾側地区の集落を経由し、市街地の医療機関・公共施設を運行する区域予約運行	<ul style="list-style-type: none"> ・交通利用が分からない者に対し、マイ時刻表を作成による利用促進 ・利用促進として、福祉・介護、交通安全等の分野と連携した周知 ・運転免許自主返納支援事業等の継続的実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年利用者:目標320人、実績307人 ・便利利用者:目標1.45人、実績1.20人 →利用が少なく、抜本的な対策が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の継続・改善
大野旅客自動車有限会社 「乗合タクシー森目・阪谷線」(予約)	市北東部の富田・阪谷地区の集落を経由し、市街地の医療機関・公共施設を運行する区域予約運行		A	<ul style="list-style-type: none"> ・年利用者:目標2600人、実績1,407人 ・便利利用者:目標2.23人、実績1.49人 →定期利用者の減少やコロナ禍のため、昨年より利用者が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性の周知や高齢者を対象としたバス利用説明会実施による利用促進 ・マイ時刻表の周知や総合時刻表マップの配布による利用促進
大野旅客自動車有限会社 「乗合タクシー友兼・蕨生線」(予約)	市南東部の富田・上庄地区の集落を経由し、市街地の医療機関・公共施設を運行する区域予約運行		A	<ul style="list-style-type: none"> ・年利用者:目標1,050人、実績581人 ・便利利用者:目標1.82人、実績1.17人 →定期利用者の減少やコロナ禍のため、昨年より利用者が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・福祉・市民生活分野等との連携による利用促進、共創の検討
大野旅客自動車有限会社 「乗合タクシー小山・木本堀兼線」(予約・一部定時)	市南西部の上庄地区の集落・小学校を経由し、市街地内の越前大野駅・医療機関・公共施設まで運行する路線定時運行		A	<ul style="list-style-type: none"> ・年利用者:目標1,400人、実績676人 ・便利利用者:目標1.95人、実績1.35人 →定期利用者の減少やコロナ禍のため、昨年より利用者が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との意見徴集による地域に合った公共交通の検討

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年11月9日

協議会名:	大野市地域公共交通活性化協議会
-------	-----------------

評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
----------	----------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>将来像 『地域で暮らし続けることができるまちづくりと連携した持続可能な公共交通』</p> <p>基本方針</p> <ol style="list-style-type: none">①交通機関の役割と特性を活かし、住み慣れた地域で住み続けられる公共交通の実現②市民の積極的な利用による、将来にわたって持続可能な公共交通の実現③様々なまちづくり分野と連携し、外出機会及び波及効果を創出する公共交通の実現
-----------------------------	---

資料3

中部様式

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

大野市地域公共交通活性化協議会

平成20年2月29日設置

フィーダー系統 **令和4年6月28日** 確保維持計画策定等

直近の二次評価結果 (期待する取組)	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>各地区で開催された意見交換会により集約された意見について、分類・整理されるとともに、要望が多い事項や対応が必要と考えられる事項について、取組の必要性を検討されることを期待します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阪谷地区との意見交換会において地域住民主体の地域交通に対する意見あり ・ 地区住民へのアンケート調査を実施し、一定のニーズがあることを確認 ・ 地区住民との意見交換や会議を開始 	<p>地区住民と勉強会や先進地視察を行うなど、住民主体の地域交通の実施可能性を含めた検討を進める。 出された意見等を地域公共交通計画と公共交通網の再構築に反映する。</p>
<p>道の駅へのアクセス交通について、利用促進に努められるとともに、利用動向を整理・分析され、必要に応じて運行計画の随時見直しを図られることを期待します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅線とJR越美北線、京福バス、まちなか循環バス、勝山大野ラインとの接続を強化するためにダイヤを改正し、道の駅へのアクセス性向上を図った。 ・ 道の駅線の利用動向から12月以降の利用者数が大きく減少したことを踏まえ、R4年度の運行計画を見直し（12～3月は運休） 	<p>今後の利用動向を整理・分析し、必要に応じて運行計画の随時見直しを図る。</p>
<p>北陸新幹線開業を見据え、開業の効果を生かせるよう、受け入れ体制の整備等を着実に進められるよう期待します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸新幹線開業を見据え、観光周遊バス「勝山・大野ライン」の試験運行（R4.9.3～11.27、土日祝のみ運行）を実施 	<p>試験運行の利用状況を踏まえ、今後の運行のあり方や方法を検討 ふくいMaaSアプリによる企画切符の実証実験を実施。</p>
<p>市内を運行する地域間幹線系統のうち輸送量が低迷している系統について、現状や問題意識を県・関係市町村・関係事業者と共有すると共に、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向け県や関係者と連携して取組を実施されるよう期待します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福井県や京福バスと大野線、勝山大野線の利用状況等を共有 ・ 大野線についてはJR越美北線の定期利用者に対し京福バスの回数券購入助成を実施し、相互利用を促進 ・ 勝山大野線については勝山高校への通学利用の利便性を高めるダイヤ改正と通学利用に対する補助を実施 	<p>JR越美北線定期利用者や大野市から勝山高校通学者への周知を図り、利用促進を図る。</p>

2.協議会が目指す地域公共交通の姿 (Plan)

<大野市地域公共網形成計画> (H31~H35) (平成31年3月策定)

●地域の特性と背景

- ・ **大野市**：福井県の東部に位置し、人口31,122人（R4年10月1日現在）、福井県内最大の面積（872.4km²）
- ・ **高齢化率**：37.5%（令和2年国勢調査）（県内でも3番目）と全国平均（28.6%）を大きく上回る
- ・ **公共交通**：広域交通 → JR越美北線、京福バス大野線、京福バス勝山大野線
地域内交通→まちなか循環バス（市街地）、乗合タクシー（田園部）、市営バス（山間部）

●大野市地域公共交通網形成計画の要点（H31.3策定、期間：H31～H35（R5））

○公共交通の将来像

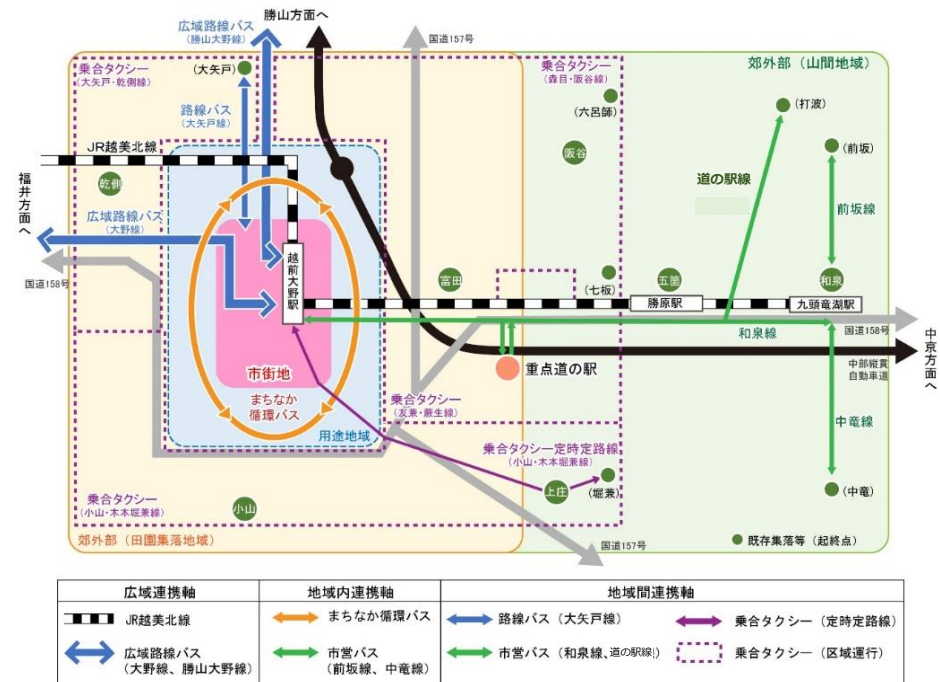
『地域で暮らし続けることができるまちづくりと連携した持続可能な公共交通』

○基本方針

- ①交通機関の役割と特性を活かし、
住み慣れた地域で住み続けられる
公共交通の実現
- ②市民の積極的な利用による、将来に
わたって持続可能な公共交通の実現
- ③様々なまちづくり分野と連携し、
外出機会及び波及効果を創出する
公共交通の実現

○目標値

- ・ 年間利用者数 / ・ 1 便当たり利用者
- ・ 収支率 / ・ 公共交通利用者の満足度
- ・ 公共交通利用者の利用意識
- ・ 運転免許自主返納支援事業の利用件数 など



3.目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容 (Do)

●具体的な取組み内容（主に補助対象路線） ※赤字は今年度実施

①運行見直し

- **まちなか循環バス：運行の安全性確保のためのルート変更**
他の公共交通（JR越美北線、京福バス）との接続強化のためのダイヤ変更
「篠座神社参道口」の停留所を、安全性を考慮し交差点付近から移設
- 乗合タクシー友兼・蕨生線：道の駅「越前おおの 荒島の郷」に停留所を追加
- 市営バス：「道の駅線」の新設（白山線の変更）
「和泉線」に道の駅「越前おおの 荒島の郷」停留所を追加

②利用促進

- ・ マイ時刻表作成の開始 ⇒ H29.6月～ 市内だけでなく、他市の情報も掲載
- ・ 運転免許自主返納支援制度 ⇒ H24～
- ・ まちなか循環バスの定期券購入者に対する買物券進呈（小売事業者の協力によるもの）
- ・ 広域路線バスの市内区間の利用に対する助成（65歳以上の市民が対象）
- ・ 民間バス会社の定期券利用範囲の拡大（市内公共交通も対象に追加）
- ・ 市内高校、後期高齢者説明会等において、公共交通利用のチラシを配布または説明会を開催し利用を周知
- ・ 各地区ごとに公共交通に関する意見交換会の実施（8地区で実施（R3））
- ・ **まちなか循環バス定期券の障がい者等割引の導入**

③新型コロナウイルス対策

- 交通事業者による感染予防の徹底（車内に消毒液の設置、喚起の徹底、感染予防シートの設置等）
- 駅前広場バス待合所、バス車内に感染予防に係る注意喚起のチラシ掲示
- 市内公共交通事業者に感染症予防対策のための支援金の交付
- 広報おおの9月号に掲載

4.計画の達成状況の評価指標とその結果 (Check)

●公共交通網評価の基本的考え方と評価基準

評価項目	目標	設定理由
年間利用者数	市民一人当たりの利用回数を1~2割増加	過去最も利用率が高かった割合を設定
1便当たり利用者数	〃	過去の利用傾向を踏まえ設定
収支率	現状よりも改善	上記①、②を基に設定

1) 目標指標に関する評価 【補助対象路線】 ※上段：総利用者数、中段：便利用者数、下段：収支率

路線	目標値 (R4)	実績値 (R4)	評価
まちなか循環バス	19,000人 6.08人/便 8.1%	11,771人 3.86人/便 4.0%	C ・昨年より利用者は微増したが、高校生に対するバス通学のPRや利用促進が必要
乗合タクシー合計	5,370人 2.01人/便 7.7%	2,971人 1.35人/便 3.7%	C ・利用が低迷しており、安全対策等による利用の呼び戻しや新規の利用者確保に向けた利用促進が必要
大矢戸・乾側線	320人 1.45人/便 —	307人 1.20人/便 —	C ・昨年より利用が少なく、抜本的な対策の検討が必要
森目・阪谷線	2,600人 2.23人/便 —	1,407人 1.49人/便 —	C ・昨年より利用者は微増したが、コロナ禍の影響が継続しており、新たな定期利用者の確保が必要
友兼・蕨生線	1,050人 1.82人/便 —	581人 1.17人/便 —	C ・コロナ禍の影響が継続し、昨年より利用者は減少 新たな定期利用者の確保が必要
小山・木本堀兼線	1,400人 1.95人/便 —	676人 1.35人/便 —	C ・コロナ禍の影響が継続し、昨年より利用者は減少 新たな定期利用者の確保が必要

2) その他路線に関する評価 【非補助対象路線】市営バス、市内路線バス、広域路線バス

- 市営バス（道の駅線・和泉線・前坂線・中竜線）・市内路線バス（大矢戸線）
児童・生徒の利用数増加により、前坂線は増加。和泉線、中竜線、市内路線バス（大矢戸線）は児童の利用数減少により減少。新設した道の駅線利用は昨年度より減少。
- 広域路線バス（京福バス大野線、勝山大野線）
大野線、勝山大野線共に昨年より利用が増加したものの、コロナ禍前の水準には回復していない。

【自己評価から得られた課題】

①目標の達成状況に関する課題

- コロナ禍前と比べ公共交通利用者は依然として減少。需要がコロナ禍前の水準に戻ることは困難な状況

→安全・安心に外出できる環境整備や、適切な周知・PRによる利用促進（呼び戻し）が必要

②公共交通ネットワークに関する課題

- 児童・生徒の通学手段や高齢者の買い物・通院等の日常生活を支える上で必要不可欠な路線の維持
- 中部縦貫自動車道 大野IC－九頭竜ICの開通（R5年度中）、北陸新幹線福井・敦賀開業（R5年度末）、中学校の再編（R6年4月）予定

→ウィズ/アフターコロナや中部縦貫自動車道の開通、北陸新幹線福井・敦賀開業、中学校再編を見据えた公共交通ネットワークの見直し

③公共交通の維持に関する課題

- 利用者減少による交通事業者の経営悪化
- 定期的な利用者の高齢化等による利用減少が顕在化

→利用者ニーズに応じた運行内容・サービスの充実による新たな利用者の確保が必要

【今後の方針】

<全体>

- ウィズ/アフターコロナを見据えた公共交通のあり方の検討
- 地域公共交通計画の策定及び市内公共交通ネットワーク再構築の検討
- 他分野との連携をはじめとした「共創」の検討
- マイ時刻表の周知等による利用促進

<まちなか循環バス>

- 高校生、高齢者への安全性の周知及び利用喚起
- ニーズや利用実態、他の公共交通ネットワーク再構築にあわせた運行内容の見直し検討

<乗合タクシー>

- 地域住民のヒアリングを踏まえた新たなデマンド交通の検討
- 地域の実情に応じた共助型交通の導入検討

<市営バス>

- 中部縦貫自動車道の開通や中学校再編を見据えた公共交通ネットワーク再構築の検討

<市内路線バス>（京福バス大矢戸線）

- 運行補助の継続による通学手段の確保

<広域路線バス・JR>（京福バス大野線、勝山大野線）

- いきいき定期券等のお得な乗車券の周知拡大
- 市内区間利用助成（100円乗車）の継続
- 運行継続に向けた事業者への支援（運行補助）
- 新幹線開業を見据えたMaaSの取り組みの推進
- 高校生の通学利用の補助（勝山大野線）
- JR越美北線と連携した利用促進
（戦国列車と連携した利用促進、情報発信等）

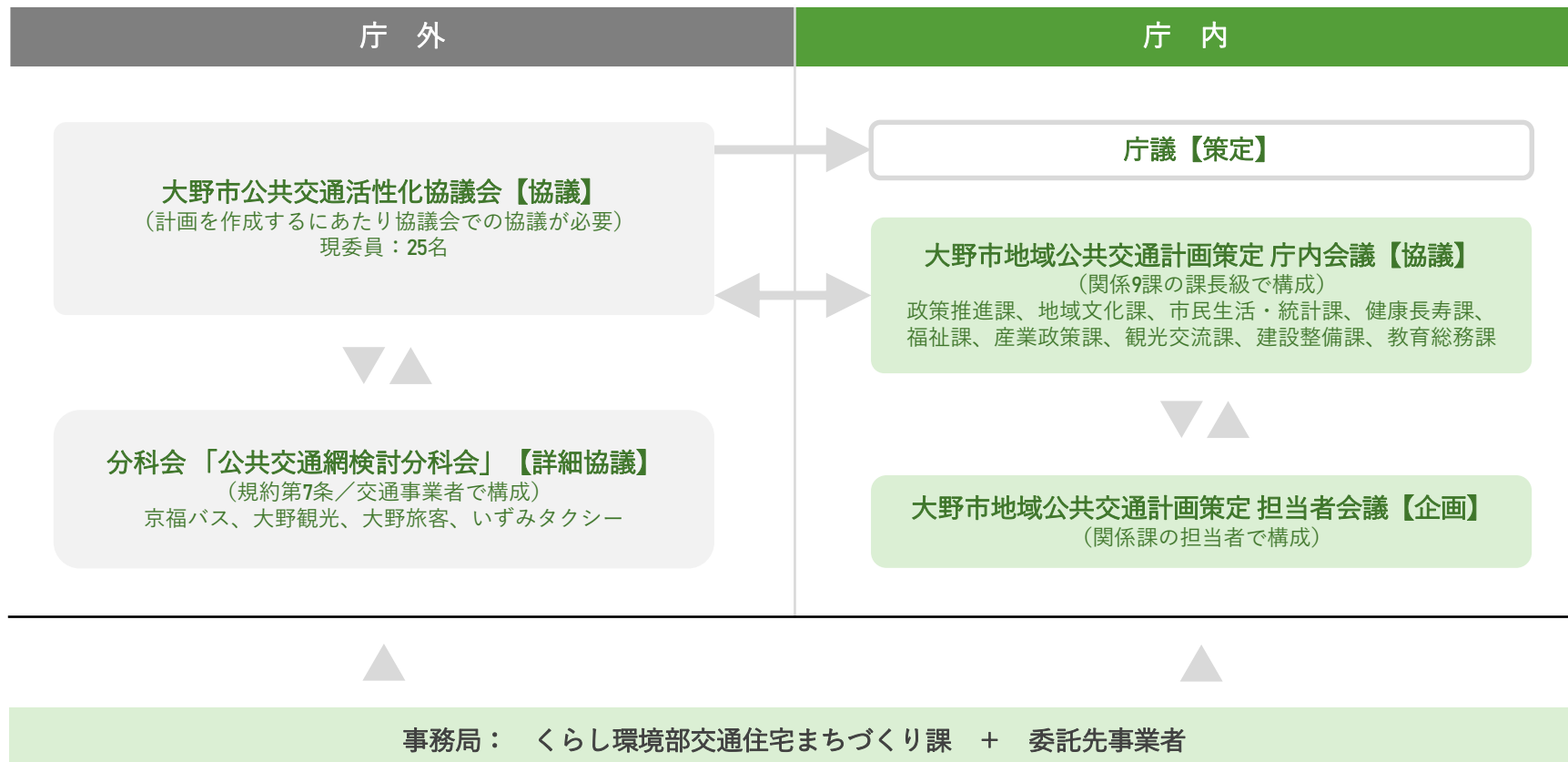
地域の移動手段を確保するために、**地方公共団体が中心となって、交通事業者等や住民などと協議しながら、マスタープラン（ビジョン+事業体系を記載するもの）となる「地域公共交通計画」を作成。**

「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにするもの。

国が定める「地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本方針」に基づき、「活性化再生法に基づく協議会（※大野市公共交通活性化協議会を指す）」を開催しつつ、協議を重ね作成。

地域公共交通計画においては、**従来のバスやタクシーといった既存の公共交通サービスを最大限活用した上で、必要に応じて自家用有償旅客運送やスクールバス、福祉輸送、病院・商業施設・宿泊施設・企業などの既存の民間事業者による送迎サービス、物流サービス等の地域の多様な輸送資源についても最大限活用する取組を盛り込むことで、持続可能な地域旅客運送サービスの提供を確保することを求めている。**

その際、交通系ICカードや二次元コードの導入によるキャッシュレス化、Wi-Fiの整備といった最新の技術や、更にはMaaS（マース：Mobility as a Service）、AI（人工知能：Artificial Intelligence）による配車、自動運転などの技術も最大限活用して生産性を向上しつつ、地域の高齢者はもとより、外国人旅行者も含めた幅広い利用者にとって使いやすいサービスが提供されることが必要。基本的に全ての地方公共団体において、計画の作成や実施を「努力義務」として定める。



大野市地域公共交通計画策定スケジュール

	R4	R5	R6
大野市公共交通活性化協議会	<p>11月9日 第2回（計画1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> 策定体制 総括、アンケート調査 公共交通網再構築の方針 <p>2月 第3回（計画2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨子案 アンケート結果 公共交通網再構築の具体化 	<p>6月 第1回（計画3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画素案 公共交通網再構築の決定 <p>8月 第2回（計画4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画案 新路線等の詳細 試験運行の計画 <p>11月 第3回（計画5回）</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画最終案 試験運行確認 <p>▼ 計画策定</p> <p>2月 第3回</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験運行報告 本格運行確認 	<p>R6年度 国庫補助事業期間 (R5.10-R6.9) →</p>
公共交通網検討分科会	<p>7月～ 交通事業者 ヒアリング</p> <p>10月8日 交通事業者 再構築の方針 説明会</p> <p>分科会は随時開催 →</p>		
庁内会議	<p>1月第2回</p>	<p>5月第3回</p> <p>7月第4回</p>	
担当者会議	<p>10月26日 庁内会議 担当者会議 合同開催</p> <p>担当者会議に随時開催 →</p>		

大野市公共交通活性化協議会規約

平成20年2月29日制定

平成20年5月12日改正

平成25年6月24日改正

令和3年4月1日改正

令和4年11月 日改正

(趣旨)

第1条 この規約は、大野市公共交通活性化協議会設置要綱第6条の規定により、大野市公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定める。

(事務所)

第2条 協議会は、事務所を福井県大野市天神町1番1号に置く。

(事業)

第3条 協議会は、次の業務を行う。

- (1) 地域公共交通計画網形成計画の策定及び変更の協議に関すること
- (2) 地域公共交通計画網形成計画の実施に係る連絡調整に関すること
- (3) 地域公共交通計画網形成計画に位置づけられた事業の実施に関すること
- (4) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送(市営有償運送を含む。)の態様、運賃・料金等に関すること
- (5) 前4号に掲げるもののほか、当協議会の目的を達成するために必要なこと

(会議)

第4条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議は委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は出席委員（代理人を含む。以下同じ）の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。ただし、第3条第1号及び第3号に掲げる事項において、議決を要する事項については、出席委員の3分の2以上で決する。
- 4 会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。
- 5 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。
- 6 学識経験者として委嘱又は任命された委員以外の委員は、会議に代理人を出席させることができる。
- 7 前6項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議結果の尊重義務)

第5条 協議会で協議が整った事項については、協議会の構成員はその協議結果を尊重しなければならない。

(幹事会)

第6条 協議会に提案する事項について、協議又は調整をするため、必要に応じ協議会に幹事会を置くことができる。

2 幹事会の構成員は、大野市公共交通活性化協議会設置要綱第3条に定める構成員の中から会長が指名する。

(分科会)

第7条 第3条各号に掲げる事項について専門的な調査、検討を行うため、必要に応じ協議会に分科会を置くことができる。

2 分科会は、大野市公共交通活性化協議会設置要綱第3条に定める構成員、その他協議会が必要と認めるものをもって構成する。

3 分科会は、必要があると認めるときは、分科会の委員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。

(事務局)

第8条 協議会の業務を処理するため、事務局に事務局長及び事務局員を置く。

2 事務局長は、大野市交通住宅まちづくり課長をもって充てる。

3 事務局員は、大野市交通住宅まちづくり課職員をもって充てる。

4 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費の負担)

第9条 協議会の運営に要する経費は、次の各号をもって充てる。

(1) 大野市からの負担金

(2) 国からの補助金

(3) その他の収入

(監査)

第10条 協議会に監査委員を2名置く。

2 協議会の出納監査は、会長が別に定めた委嘱する監査委員によって行う。

3 監査委員は、監査の結果を会長に報告しなければならない。

(財務に関する事項)

第11条 協議会の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議会が解散した場合の措置)

第12条 協議会が解散した場合には、協議会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(その他)

第13条 この規約に定めるもののほか、協議会の事務の運営上必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規約は、平成20年2月29日から施行する。

附 則

この規約は、平成 20 年 5 月 12 日から施行する。

附 則

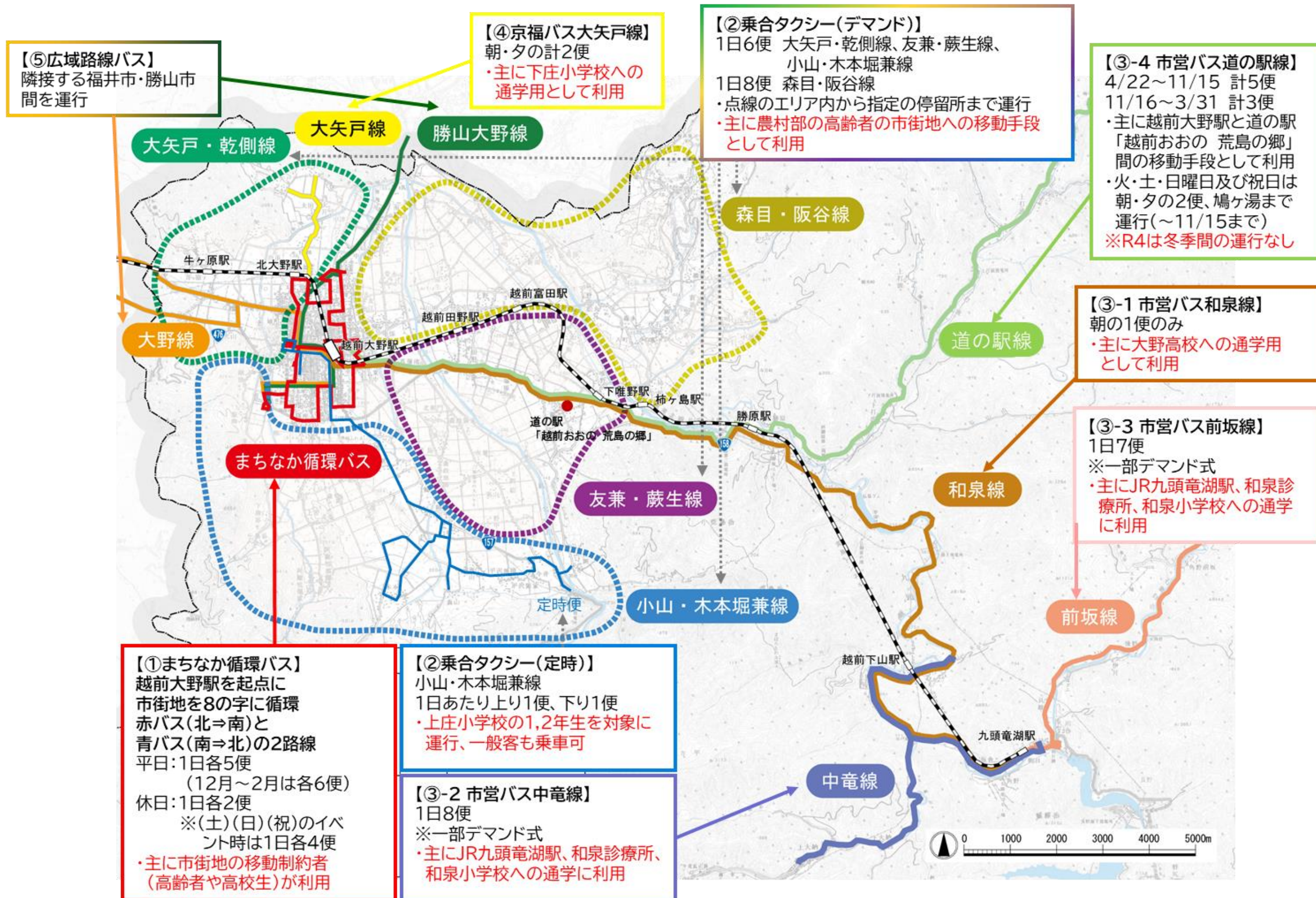
この規約は、平成 25 年 6 月 24 日から施行する。

附 則

この規約は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

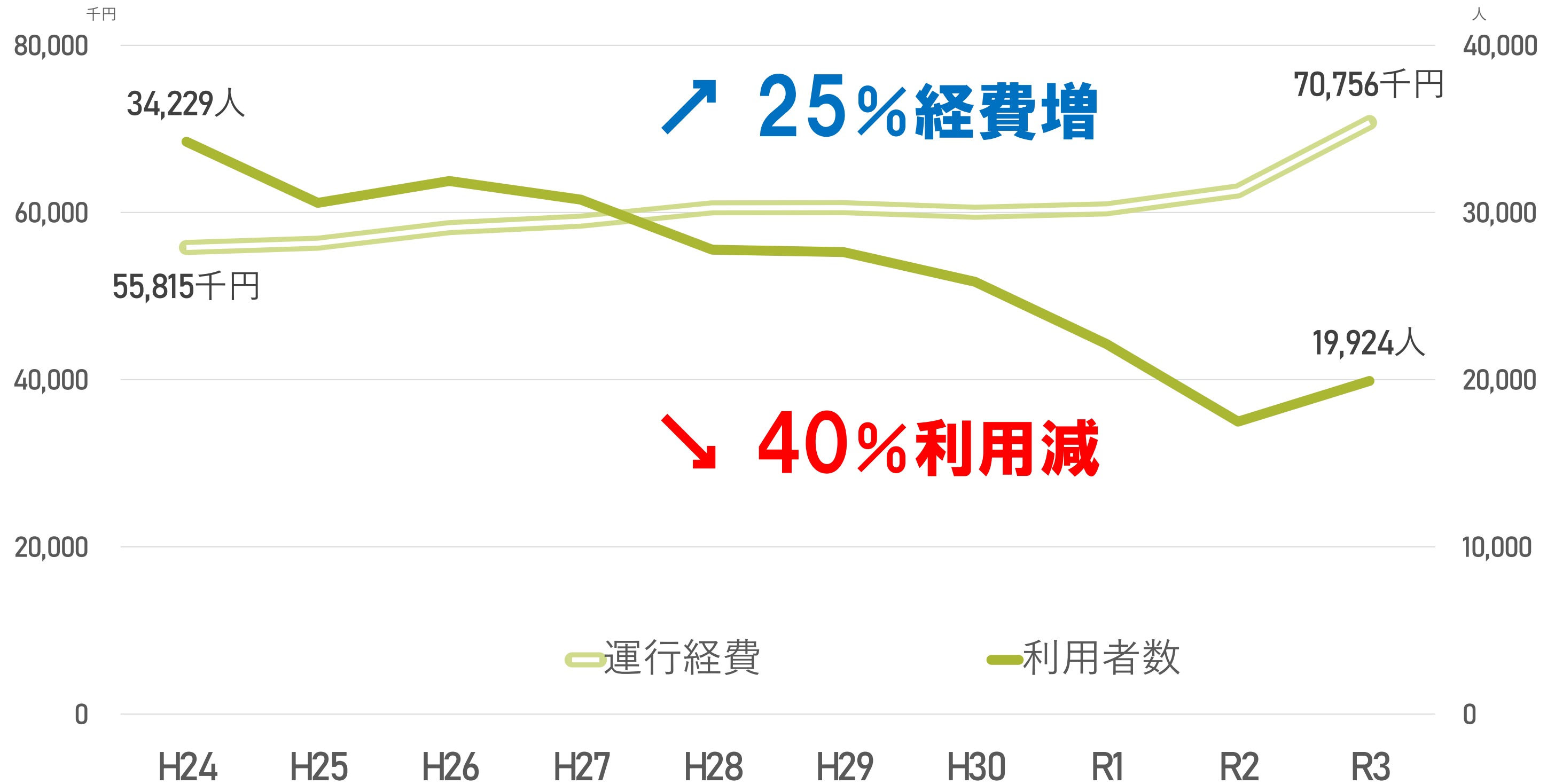
この規約は、令和 4 年 1 1 月 日から施行する。



- 市域内**
- まちなか循環バス
 - 乗合タクシー
 - 市営バス
 - 道の駅線 (旧 白山線)
 - 和泉線
 - 前坂線
 - 中竜線
- 和泉3線
- 大矢戸線 (京福バス)

- 広域**
- 大野線、勝山大野線
 - JR越美北線
 - 勝山大野周遊ライン
- (実証実験)

本格運行から10年の利用者数と運行経費

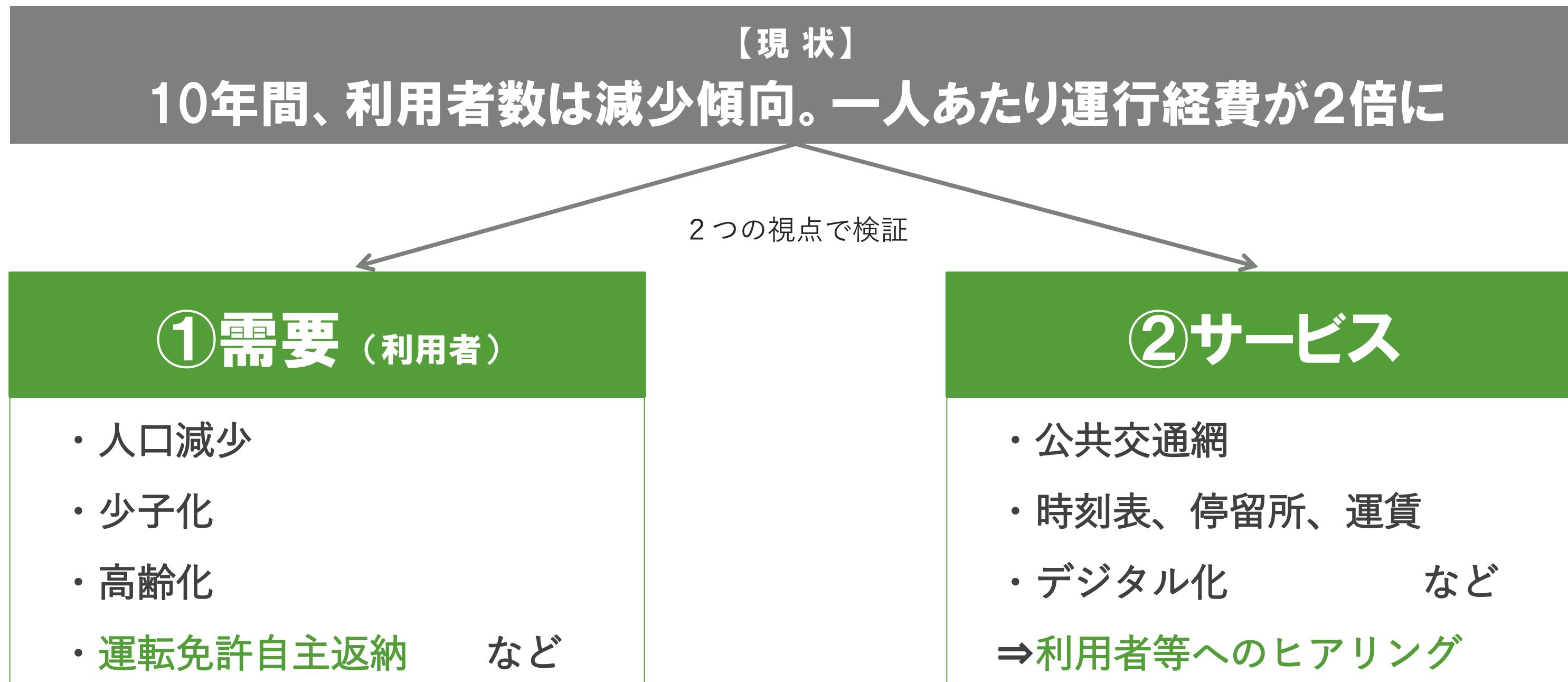


まちなか循環バス、乗合タクシー、市営バスの合計 (広域路線バスや大矢戸線は除く)

利用者数と運行経費の路線等別の比較

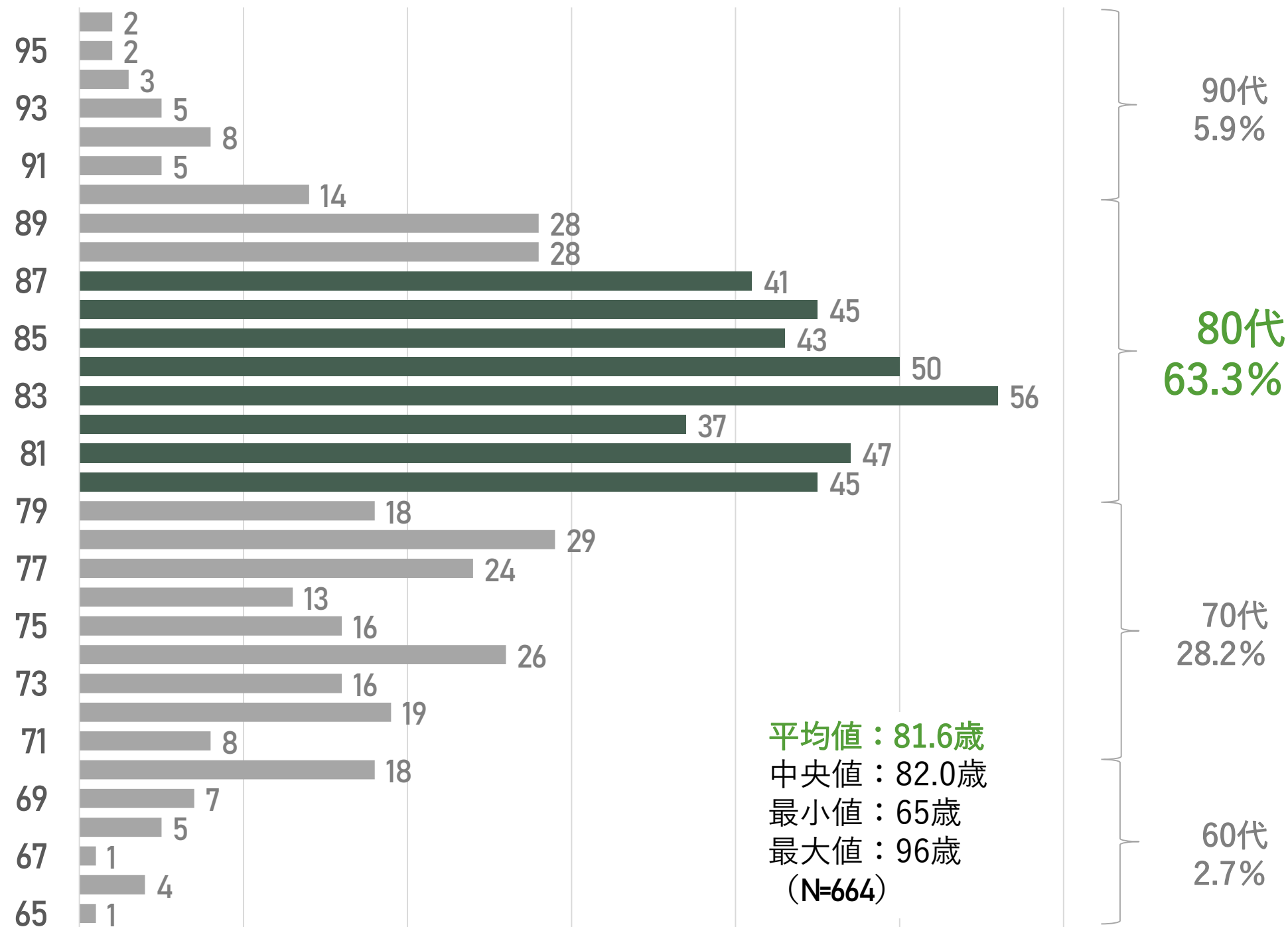
	H24			R3	
		一人あたり運行経費		一人あたり運行経費	
まちなか循環バス	16,419千円 17,581 人	934 円/人	▷	2,117 円/人	24,046千円 11,358 人
乗合タクシー	20,799千円 8,753 人	2,376 円/人	▷	5,085 円/人	22,410千円 4,407 人
道の駅線 (旧白山線)	3,525千円 650 人	5,423 円/人	▷	18,450 円/人	9,446千円 512 人
和泉3線	15,072千円 7,245 人	2,080 円/人	▷	4,073 円/人	14,853千円 3,647 人

冬季間も運行するなど特別な年ではあった



最終的な総括 (定量的・定性的) は、アンケート調査の結果を踏まえ整理

運転免許自主返納支援事業 申請時年齢 (H24~R3末)



年	H29	H30	R元	R2	R3
65歳以上 自主返納数 (警察調べ)	123	120	171	149	156
自主返納事業 申請者数	81	82	126	85	88

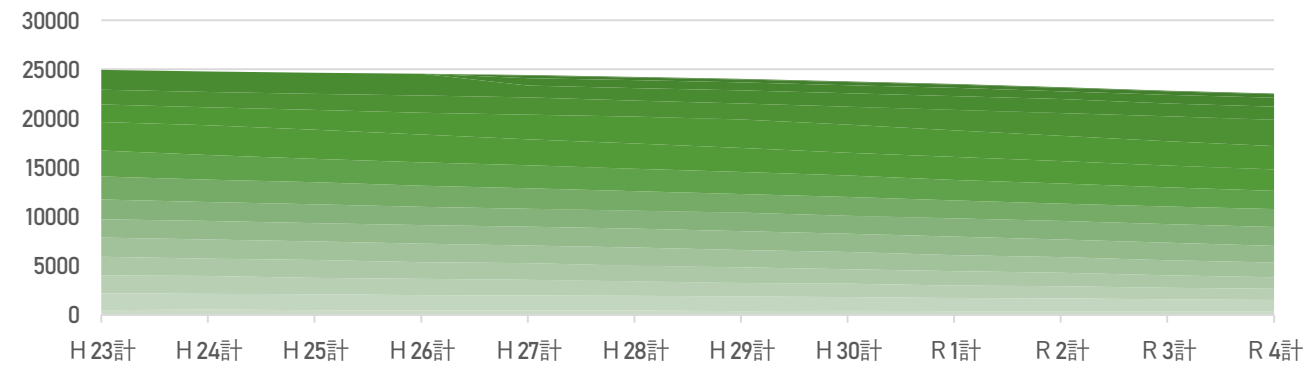
免許自主返納支援事業の市認定人数は累計 677人 (H24~R3年度末)

認定申請者 (664人) の
平均年齢 82歳
80代が6割以上

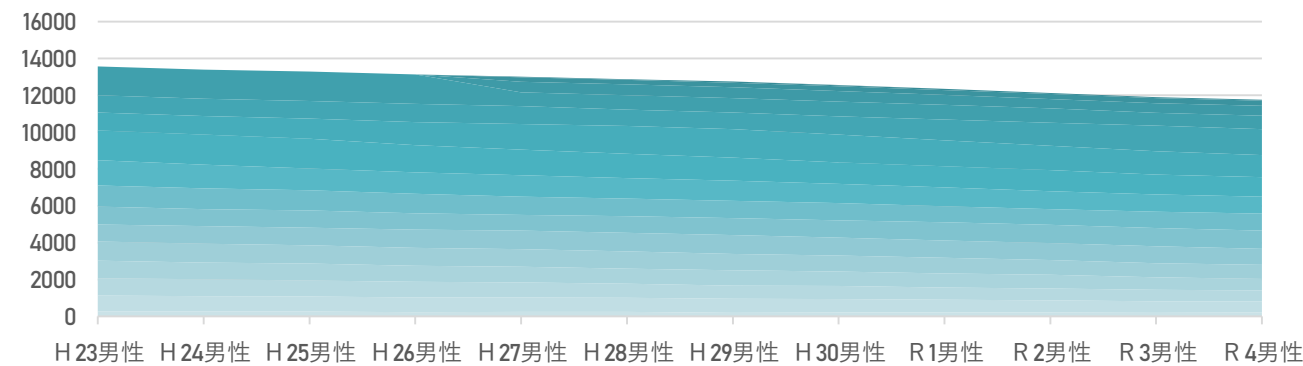
① 需要 | 運転免許保有状況

大野市 全体 運転免許保有者数

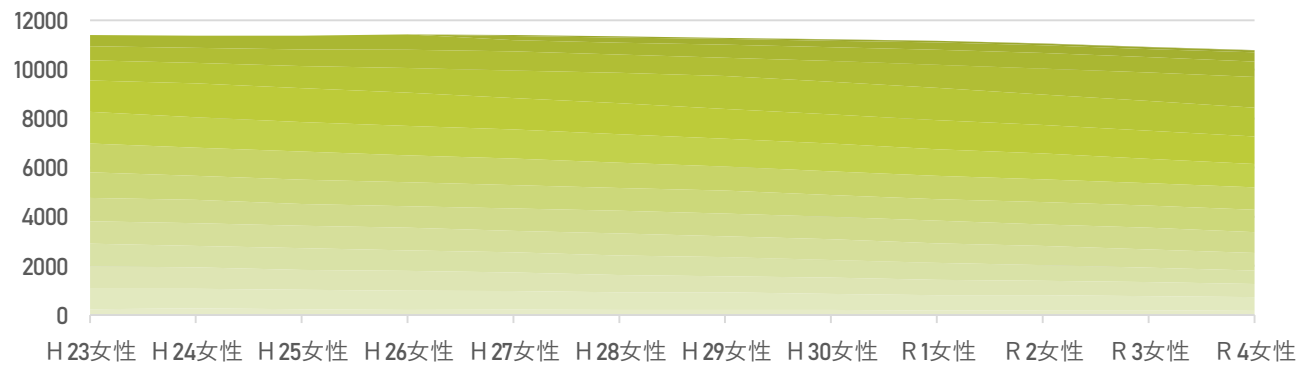
大野市 運転免許保有者数



男性

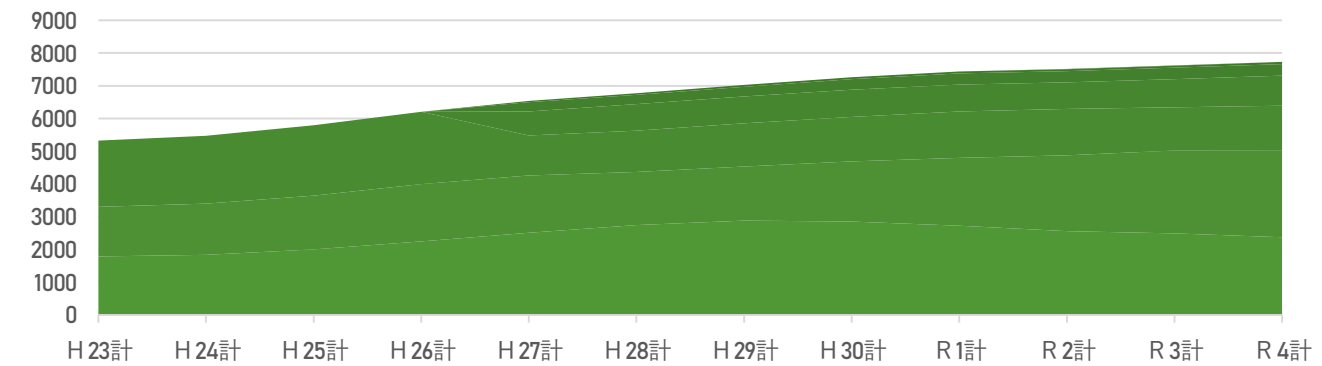


女性

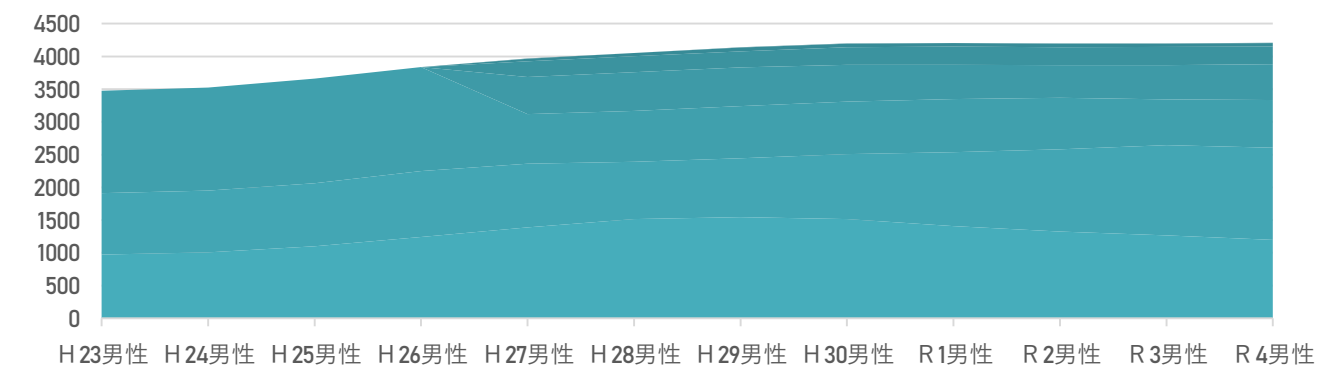


うち 65歳以上

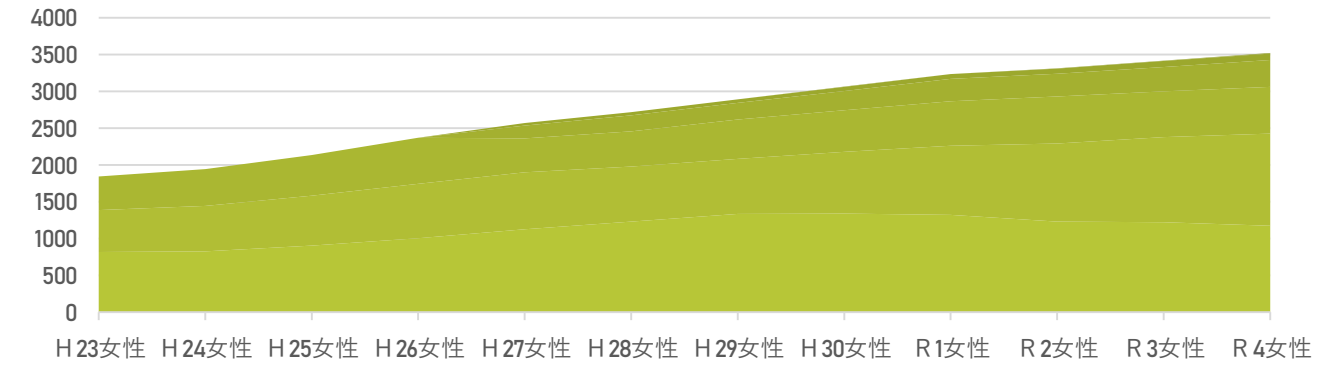
大野市 65歳以上の運転免許保有者数



65歳以上男性



65歳以上女性



運転免許保有者は
10年間で微減
しかし、
65歳以上では増加

65歳以上の男性は
微増から横ばいへ

65歳以上の女性は
大幅に増加 (1.8倍)
全体の引き上げ要因

- この10年、高齢者が増加し、運転免許自主返納者も増えているものの、車を運転できない高齢者(特に女性)は減少
- 背景には市民(特に女性)の免許取得者が増加、この傾向は続く見込み
※20歳～64歳の市民の96%が免許を取得(男女共に平均96%)
- 運転免許自主返納の平均年齢は82歳 ⇒ 健康な間はマイカー利用

参考 | 65歳以上の免許保有状況の比較

	H24	R4	差引
65歳以上の人口	10,721 人	11,717 人	約1,000人の増
うち免許保有者	5,467 人	7,732 人	約2,300人の増
車を運転できない人	5,254 人	3,985 人	約1,300人の減
65～74歳女性の免許保有率	59 %	85 %	

利用者等（地区別意見交換、阪谷・小山地区住民）

■乗合タクシーの利用者

- ✓ 停留所を増やしてほしい
停留所に椅子が欲しい
- ✓ 時刻表の間隔を短くしてほしい
- ✓ 急ぎのときに使いづらい
(1時間前までの予約が必要なため)

■地区住民

- ✓ 時刻表を無くしてほしい
- ✓ 家まで来てほしい
- ✓ タクシー補助の方がいいのでは？

交通事業者

■乗合タクシーの課題

- ✓ 予約が必要
- ✓ 便数の制限（時刻表の存在）
- ✓ 乗降場所の制限（停留所の存在）
- ✓ 運賃が問題とは思わない

- 市民向けの公共交通に関するアンケートを、今冬に実施予定
- 計画策定に向けた基礎資料として、現計画（網形成計画）の成果指標の一つとして必要
- 継続性を踏まえ、基本的に設問内容は前回は踏襲したい
- 対象は、15歳以上の市民2,200名程度を想定
（インターネットから回答できるようにしたい）

前回調査の様式は、資料7のとおり

大野市公共交通に関する市民アンケート

～みなさまのご意見を反映するため、アンケートにご協力ください～

平成 30 年 7 月 大野市

本市では「JR 越美北線」「路線バス」「まちなか循環バス（ゆうゆうバス）」「乗合タクシー」「市営バス」の公共交通が運行されており、市民の皆様のご生活を支える重要な移動手段であるほか、健康・福祉や交通安全、まちの賑わい創出や環境負荷の低減など、さまざまな役割を担っています。そのため、今後も運行の利便性や効率性を考慮しながら、持続可能な公共交通の実現を目指していきたくて考えております。

そこで、皆様の日常生活の移動手段や公共交通に対するご意見をいただき、今後の公共交通のあり方などを検討するために、アンケート調査を実施いたします。

なお、本アンケートは、市内にお住まいの 15 歳以上の方を対象として実施するものです。アンケートは無記名で、すべて統計的に処理されますので、個人としてのご意見やお考えが外部に漏れたりすることは一切ありません。

調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見やお考えをお聞かせください。



【アンケートのご記入方法について】

1. このアンケートは、**あなたご自身**がお答えください。都合により**代筆していただいてもかまいません**。
2. 回答方法は、該当する番号を○で囲んでください。質問ごとに、「**1つだけ○**」「**2つまで○**」など、選び方が指定されていますのでご注意ください。
3. 回答後は、同封の返信用封筒に入れ、**平成 30 年 8 月 7 日（火）までに、郵便ポストに投函（切手は不要）**してください。

お問い合わせ先：大野市 産経建設部 建築営繕課

〒912-8666 大野市天神町 1-1

TEL:0779-64-4815、FAX:0779-66-1118

2. 市内の公共交通機関の利用状況や利用環境などについてお伺いします。

問2. あなたが主に利用する公共交通機関についてお聞きします。

①あなたが主に利用する市内公共交通機関は何ですか（**1つだけ**○）。

利用されていない方は、ご自宅から最寄りの公共交通機関を記入ください。

- | | |
|---------------------|--|
| 1. まちなか循環バス（ゆうゆうバス） | 2. 乗合タクシー大矢戸・乾側線 |
| 3. 乗合タクシー森目・阪谷線 | 4. 乗合タクシー友兼・蕨生線 |
| 5. 乗合タクシー小山・木本堀兼線 | 6. 市営バス |
| 7. 京福バス | 8. 知らない ⇒ 問3 へ |

②あなたは、①で回答された公共交通機関をどのくらいの頻度で利用されていますか（**1つだけ**○）。

- | | | |
|----------------|------------|--|
| 1. ほぼ毎日（週5日以上） | 2. 週3、4日 | 3. 週1、2日 |
| 4. 月1、2日 | 5. 月に1日未満 | 6. 悪天候時のみ |
| 7. 冬期間のみ | 8. イベント時のみ | 9. 利用したことがない
⇒ 問3 へ |

③あなたは、①で回答された公共交通機関について、改善の必要性をどのようにお考えですか（「1. 改善が必要である」と回答された方はその内容を記載）。（**1つだけ**○）

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. 改善が必要である | 2. 改善は必要ない | 3. どちらとも言えない |
|-------------|------------|--------------|

<具体的な改善内容>



④あなたは、①で回答された公共交通機関について、どのように感じていますか
(それぞれ1つずつ○)。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
①運行時刻の分かりやすさ	5	4	3	2	1
②運行時間帯の利用しやすさ (午前、午後、夕方等)	5	4	3	2	1
③運行間隔の利用しやすさ (運行本数の多さ)	5	4	3	2	1
④運行ルート・エリアの利用しやすさ (目的地への移動のしやすさ)	5	4	3	2	1
⑤自宅からのバス停の距離	5	4	3	2	1
⑥目的の施設からのバス停の距離	5	4	3	2	1
⑦目的地までの所要時間	5	4	3	2	1
⑧運転手の対応やサービス	5	4	3	2	1
⑨バスの乗り降りのしやすさ (バリアフリー)	5	4	3	2	1
⑩バスの大きさ (利用者の混み具合)	5	4	3	2	1
⑪他のバスとの乗り継ぎのしやすさ (待ち時間)	5	4	3	2	1
⑫鉄道との乗り継ぎのしやすさ (待ち時間)	5	4	3	2	1
⑬利用しやすい運賃	5	4	3	2	1
⑭総合評価	5	4	3	2	1

次のページに続きます



問3. 通勤・通学時の移動手段についてお聞きします。

①定期的に通勤・通学されていますか（**1つだけ○**）。

1. 通勤・通学している ⇒ **下表**へ 2. 通勤・通学していない ⇒ **問4**へ



「1」を選択された方は詳しい移動の内容をお聞かせください。

<p>② 通勤・通学先の所在地</p>	<p>_____市_____町</p> <p>※（例）大野市 天神町</p> <p>※所在地がわからない方は、会社名・学校名等を記入ください。 ()</p>
<p>③ 市内での移動手段 （複数の交通手段を乗り継ぎされる方はあてはまるもの全てに○）</p>	<p>1. 自家用車 2. 原付/バイク 3. 家族等による送迎</p> <p>4. 徒歩 5. 自転車 6. JR 越美北線</p> <p>7. 京福バス 8. まちなか循環バス 9. 市営バス (ゆうゆうバス)</p> <p>10. 乗合タクシー 11. タクシー 12. その他 ()</p>
<p>④ 家族等による送迎の際の移動先</p>	<p>上記で「3. 家族等による送迎」を選んだ方のみ、送迎先を1つ選んでください（1つだけ○）。</p> <p>1. 駅・バス停まで ⇒具体的な駅・バス停名 (駅・ バス停)</p> <p>2. 通勤・通学先まで</p>
<p>⑤ 通勤・通学に電車、バス、乗合タクシーを利用しない理由</p>	<p>公共交通を利用していない方のみ（③で「1. 自家用車」～「5. 自転車」又は「11. タクシー」「12. その他」を選択）お答えください。</p> <p>電車・バス・乗合タクシーを利用しない理由（2つまで○）</p> <p>1. 自宅からの最寄りの停留所の場所がわからない</p> <p>2. 自宅近くに駅・バス停がない（遠くて歩いていけない）</p> <p>3. 行きたい場所へ向かう路線がない</p> <p>4. 乗り換えが不便</p> <p>5. 利用しやすい時間帯ではない</p> <p>6. 運賃が高い</p> <p>7. その他 ()</p>

次のページに続きます

● 公共交通網・路線の最適化

利用者の少ない路線の効果検証、中部縦貫自動車道の開通、中学校再編に伴うスクールバスの運行を踏まえ、地域にとって最適な公共交通のあり方を検討する。

● 公共交通サービスの利便性向上

公共交通への市民の需要が増加することは見込みづらい状況（免許保有率の高まり）。これから公共交通を利用しようとする方は、これまで車を運転していた方ばかりとなる。安心して運転免許の自主返納ができるよう、さらなる利便性の向上をめざす。

● 運転手の確保

公共交通における運転手の確保は課題。さらに今後スクールバスの増便が控えている。再構築により、運転手の確保も含めた（事業者を含む）持続可能なあり方を検討する。



新市営バス路線の概要	
路線名称	未定
運行形態	定時定路線 (時刻表あり)
概要	<p>従来の和泉線と前坂線と道の駅線を統合した新路線。和泉線とは異なり、中部縦貫自動車道を通行します。</p> <p>陽明中学校へのスクールバス機能、大野高校、奥越明成高校への通学利用、和泉小学校へのスクールバス機能(予定)、を想定しています。</p>
運行ルートの一例	<p>前坂 → 九頭竜湖駅 → 九頭竜IC → 大野IC → 陽明中学校 → 越前大野駅 → 道の駅 → 荒島IC → 九頭竜IC → 九頭竜湖駅 → 前坂</p> <p>夕方(帰り)は、荒島IC → 道の駅 → 越前大野駅 → 陽明中学校 → 大野IC → のルートも想定されます。</p>
運行便数	3便以上 (現在の和泉線は朝1便)
運賃	未定 (中学生の運賃はかかりません)
その他	貨客混載(和泉地区への荷物の輸送)にも利用できる可能性があります。



乗合タクシーと新デマンド交通の比較		
名称	乗合タクシー	未定(新デマンド交通)
運行区域	旧大野市域を4区域に分割	市全域を2区域に分割(旧大野市域と和泉地区)
料金	距離に応じて300~500円	定額(400円など)
利用者	だれでも	会員制
予約	事前に電話予約(定時便は定時定路線)	事前に電話予約(定時便は廃止)
停留所	あり	あり(停留所を増やす) ※和泉地区は同地区内のみ
時刻表	あり	無し
メリット	・時刻表があるため必ず車を確保できる	・タクシーに近くなり利便性が増加
デメリット	・利用時間が限定 ・利用実績に関わらず委託料が発生(待機)	・車両の確保 ・効率的な乗合運行が可能かどうか(需要次第ではAI導入も検討)

まちなか循環バス

ニーズや利用実態、他の公共交通ネットワークの再構築にあわせて、運行内容を見直す予定。



再構築後

- まちなか循環バス (ルート・時刻表などの見直し)
- 新デマンド交通 (旧大野市域と和泉地区を運行)
- 新市営バス路線 (和泉地区のスクールバスを兼ねる)

廃止・統合路線

- 市営バス**
 - 道の駅線 } ⇒ 新市営バス路線へ
 - 和泉線 } ⇒ 新市営バス路線へ
 - 前坂線 (予定) } ⇒ 新市営バス路線へ
 - 前坂線+中竜線 } ⇒ 新デマンド交通 (和泉地区)
- 乗合タクシー**
 - 小山・木本堀兼線 定時便 ⇒ 廃止 (スクールバスを想定)
 - 乗合タクシー4区域 ⇒ 新デマンド交通 (旧大野市域)

新旧路線のフィーダー補助の対象(予定)

	旧路線(現状)	フィーダー補助
まちなか循環バス	赤バス	○
	青バス	
乗合タクシー	小山・木本堀兼線：定時便	○
	森目・阪谷線	
	友兼・蕨生線	
	小山・木本堀兼線	
	大矢戸・乾側線	
市営バス	道の駅線	×
	和泉線	×
	前坂線	×
	中竜線	×

新路線(再構築後)	フィーダー補助:予定
継続	○
継続	
廃止	—
②新デマンド交通(旧大野市域)	○
①新市営バス路線	○
②新デマンド交通(和泉地区)	○